

# 官報

號外 昭和十二年九月六日

## ○第七十二回 衆議院議事速記録第一二號

昭和十二年九月五日(日曜日)  
午後一時十九分開議

第九 臨時船舶管理法案(政府提出)  
第一讀會

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲  
茲ニ掲載ス)

議事日程 第一號

昭和十二年九月五日

午後一時開議

第一 支那事變ニ關スル臨時軍事費支  
辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政  
府提出)

第一讀會 第一讀會

第二 臨事軍事費特別會計法案(政府  
提出)

第一讀會 第一讀會

第三 支那事變ニ爲從軍シタル軍人及  
軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等  
ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第一讀會 提出者

第四 臨時資金調整法案(政府提出)

第一讀會 第一讀會

第五 外國爲替管理法中改正法律案  
(政府提出)

第一讀會 第一讀會

第六 米穀ノ應急措置ニ關スル法律案  
(政府提出)

第一讀會 第一讀會

第七 臨時肥料配給統制法案(政府提  
出)

第一讀會 第一讀會

第八 輸出入品等ニ關スル臨時措置  
案(政府提出)

第一讀會 第一讀會

(議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ  
如シ  
土地貨價格調査ニ關スル質問主意書  
提出者  
(以上九月四日提出)

菅野善右衛門君  
野溝 勝君  
淺沼稻次郎君  
井上 良次君  
永江 一夫君  
阿部 茂夫君

第一讀會  
(以上九月四日提出)

佐藤 與一君  
石坂 養平君  
春名 成章君  
川俣 清音君  
決算委員  
委員長  
理事  
佐藤 勝君  
森 肇君  
三輪 寿壯君  
菊池 良一君  
福田關次郎君  
岩吉君  
服部 岩吉君  
三大臣ノ演説ニ次イデ陸軍大臣及ビ海軍大  
臣ヨリ、支那事變ニ關シ報告ノ爲メ發言ヲ求  
めタリ、先ダチ内閣總理大臣、外務大臣及ビ大  
臣ヨリ演説ノ通告ガアリマス、尙ホ右  
大臣ノ演説ニ次イテ陸軍大臣及ビ海軍大  
臣ヨリ、支那事變ニ關シ報告ノ爲メ發言ヲ求  
めタリ、先ダチ内閣總理大臣、外務大臣及ビ大  
臣ヨリ演説ノ通告ガアリマス、尙ホ右

一昨四日近衛内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令  
アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

司法省民事局長 大森 淳太君

坂東幸太郎君  
片岡 恒一君

宮本雄一郎君  
高橋圓三郎君

鈴木 正吾君  
菊地養之輔君

委員長

中村 梅吉君

本田 義成君

懲罰委員  
委員長

木村 浅七君

田中 亮一君

石坂 繁君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 秀吉君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

田中 好君

川崎巳之太郎君

赤城 宗徳君

前川 正一君

木村 浅七君

田中 秀吉君

メラレテ居リマス、順次之ヲ許シマス——  
内閣總理大臣近衛文麿君

國務大臣ノ演説

(國務大臣公爵近衛文麿君登壇)

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 昨日開院式ニ當リマシテ、時局ニ關シ特ニ優渥ナル勅語ヲ拜シマシタコトハ、眞ニ恐懼感激ノ至ニ堪ヘマセヌ、私ハ諸君ト共ニ謹ンデ聖旨ヲ奉戴シテ一意報效ノ誠ヲ竭シ、宸襟ヲ安ンジ奉リタイト存ズルノアリマス  
去ル七月七日北支ニ事變ガ勃發致シマシテ以來、帝國政府ガ支那ニ對シテ採リ來リマシタル根本方針ハ、飽マデモ支那政府ノ反省ヲ求メマシテ、其誤レル排日政策ヲ棄セシメ、以テ日支兩國ノ國交ヲ根本的ニ調整セントスルニアルノアリマシテ、此方針ハ今日ト雖モ何等變ル所ガナノアリマス、唯此方針ヲ遂行致シマスル手段ト致シマシテ、從來政府ハ出來ルダケ事件ノ擴大スルコトヲ防ギ、局面ヲ限定シテ事態ヲ收拾スベク努メタノアリマス、此事ハ今日マデ屢々聲明致シタ通リデアリマシテ、諸君モ御諒承ノコトト思フノアリマス  
然ルニ支那側ハ公正ナル帝國政府ノ眞意ヲ諒解セザルノミナラズ、帝國政府ノ隱忍ニ乘ジマシテ益、毎日抗日ノ氣勢ヲ擧ゲ、統制ナキ國民感情ノ激スル所、事態ハ急速ナル惡化ヲ來シマシテ、局面ハ北支ノミナラズ、中支南支ニマデモ波及スルニ至ッタノアリマス、隱忍ニ隱忍ヲ重ネテ參リマシタ我

ガ政府モ、是ニ於テ從來ノ如ク消極的且ツ局地的ニ事態ヲ收拾スルコトノ不可能ナルヲ認ムルニ至リマシテ、遂ニ斷乎トシテ積極的、且ツ全面的ニ支那軍ニ對シテ一大打撃ヲ與フルノ已ムナキニ立至リマシタ次第

デアリマス(拍手)

抑、一國ガ特定ノ他ノ一國ヲ排斥侮蔑スルコトヲ以テ其國策トナシ、國民教育ノ方針トシテ斯ル思想ヲ幼少ナル兒童ノ頭腦ニ

マデ注入スルガ如キコトハ、古今東西ノ歴史ニ於テ未ダ曾テ類例ヲ見ザル所デアリマ

シテ、是ガ將來ニ於ケル結果ヲ考ヘマスル時ニハ、獨リ日支兩國ノ國交ノ爲ノミナラズ東洋ノ平和、延テハ全世界ノ平和ノ爲ニ

眞ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアルノデアリマス、帝國政府ト致シマシテハ從來屢々支那

政府ニ對シ、其態度ヲ更メンコトヲ要求シタニ拘ラズ、毫モ顧ミル所ナク、遂ニ今次

ノ事變ヲ惹起セシムニ至ッタノデアリマス、斯ノ如キ國家ニ對シテ其反省ヲ求ムル

シタルコトハ、獨リ帝國自衛ノ爲ノミナラズ、正義人道ノ上ヨリ見マシテモ、極メテ當然ノコトナリト固ク信ジテ疑ヘヌモノデアリマス(拍手)蓋シ東亞ノ和平ナク

シテ東亞國民ノ幸福ナシト信ズルカラデアリマス、固ヨリ帝國ノ打擊ヲ加ヘントスル目標ハ、斯ル誤レル排外政策ヲ實行シテ、アル所ノ支那政府及ビ軍隊デアリマシテ、帝國ハ斷ジテ支那國民ヲ敵トスルモノ

デハナインデアリマス、又支那政府ニ致シ

マシテモ、眞ニ能ク反省ヲ致シ、今後我國ト携シテ、相共ニ東洋文化ノ發達ト、東洋平和ノ確立ニ向シテ力ヲ盡サントスル誠意ヲ示スニ至リマシタナラバ、帝國トシテハソレデモ尙ボ之ヲ追究セントスルモノデハイノデアリマス  
併ナガラ今日此際帝國トシテ採ルベキ手段ハ、出來ルダケ、速ニ支那軍ニ對シテ徹底的打擊ヲ加ヘ、彼ヲシテ戰意ヲ喪失セシムル以外ニナイノデアリマス、斯クシテ尙ホ支那ガ容易ニ反省ヲ致サズ、飽マデ執拗ナル抵抗ヲ續クル場合ニハ、帝國トシテ長期ニ瓦爾戰モ勿論辭スルモノデハナイノデアリマス、惟フニ東洋平和ノ確立ノ大使命ヲ達成スルガ爲ニハ、尙ホ前途ニ幾多ノ難關ガ横ハッテ居ルノデアリマシテ、此難關ヲ突破スルガ爲ニハ、上下一致堅忍持久ノ精神ヲ以テ邁進スルノ覺悟ヲ要スルト思フノデアリマス

今ヤ、我ガ忠勇ナル將兵ハ全支ニ瓦リ萬難ヲ排シテ堂々正義ノ陣ヲ進メ、皇軍ノ威カヲ中外ニ宣揚シツ、アルコトハ、國民ノ齊シク感謝感激ニ堪ヘヌ所デアリマス(拍手)又是ト同時ニ全國津々浦々ニ至ルマニ光榮トスルト同時ニ、其責任ノ愈々重大ナルコトヲ痛感スルノデアリマス、諸君ニ於カレマシテモ、宜シク政府ノ意ノアル所ヲ諒トセラレマシテ、慎重御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 外務大臣廣田弘毅君

(國務大臣廣田弘毅君登壇)

○國務大臣(廣田廣毅君) 今次支那事變ニ對シマスル帝國政府ノ所信ハ、只今總理大臣ヨリ明ニセラレタ通リデアリマス、私ハ茲ニ前議會後ニ於ケル今次事變ニ關聯スル外交ノ經過ノ概略ヲ陳述致シタコト存ジマス  
事變勃發以來帝國政府ハ現地解決、事態不擴大ノ方針ニ基キ、南京政府ノ速力ナル反省ヲ求メ、時局ノ收拾ニ努力シ參ッタノデアリマスガ、南京政府ハ毫モ誠意ヲ示サズ、益々中央軍ヲ北支ニ集中シテ我方ニ挑戰シ

來ルト共ニ揚子江流域及ビ南支各地ニ於テハ、陰險極マル排日ヲ行ヒ、以テ是等地方ニ於ケル我ガ在留民ノ平和的活動ハ固ヨリ、其生存ヲスラ危殆ナランムルニ立至ツタノデアリマス、斯ル狀態ノ下ニ於キマシテ留邦人ヲ全部引揚ゲシメタノデアリマス、其後偶八月九日上海ニ於テ、我ガ陸戰隊大山中尉及ビ齋藤水兵ガ、支那保安隊ノ爲メ無残ニ殺害セラル、ニ至リマシタガ、我方ニ於テハ尙ホ努力メテ平和的解決ノ方針ヲ以テ之ニ處シ、右保安隊ノ急速ナル撤退、竝ニ昭和七年ノ停戰協定ニ違反スル各種軍事施設ノ撤去ヲ求メテ、事態ノ收拾ヲ圖ラントシタノデアリマス、然ルニ支那側ニ於テハ言ヲ左右ニ託シテ之ニ對シマシテモ、耳ヲ傾ケナカツタ由デアリマスガ、續イテ八月十三日ニハ更ニ上海ノ英、米、佛三國總領事ヨリ、交戰停止方ニ關スル新シキ一具體案ヲ示シテ參リマシテ、

然ルニ支那側ハ右我方ノ應急適切ナル條件ニ對シマシテモ、耳ヲ傾ケナカツタ由デアシテ五國側ニ申入レシメタノデアリマス、シテ五國側ニ申出レシメタノデアリマス、然ルニ支那側ハ右我方ノ應急適切ナル條件ニ對シマシテモ、耳ヲ傾ケナカツタ由デアリマスガ、續イテ八月十三日ニハ更ニ上海ノ英、米、佛三國總領事ヨリ、交戰停止方ニ關スル新シキ一具體案ヲ示シテ參リマシテ、

日支間ニ直接交渉ヲ行ヒ、目前ニ迫ツタ危機ヲ回避スルヤウ日支雙方ニ申出デタノデアリマス、其申出ハ八月十三日ノ夜半ニ東京ニ著キマシタガ、支那側ハ之ニモ拘ラズケル其兵力及ビ軍事施設ヲ増大シ、我方ニ對シテ不法ニモ攻勢ニ出デマシタ爲メ、帝國ニ於テハ已ムナク應急ノ措置トシテ、少數ノ海軍兵力ヲ上海ニ増遣シ、以テ我ガ居留民保護ノ責ヲ全ウセンコトヲ期シタノデアリマス

斯ノ如ク上海ノ形勢不穏ニ立至リマスルヤ、八月十一日在南京英、米、獨、佛、伊ノ五箇國大使ハ、日支雙方ニ對シ、上海ニ於ケル外國人ノ生命財產ノ安全ヲ圖ル爲スルノ暴舉ニ出デマシタ爲ニ、事茲ニ至ツテハ帝國ト致シマシテモ、最早平和的收拾ノ望ヲ捨テ、三万ニ垂ントスル我ガ居留民保護ノ爲メ、遂ニ戰鬪ヲ行ハザルヲ得ザルニ至ツタ次第アリマス、關係列國ノ努力モ同地ヲ兵火ノ巷ト爲サザルヤウ、出來得ル限リノ措置ヲ講ゼラレタキ旨申出タノデアリマス、右ニ對シ帝國政府ハ、上海ニ

於ケル内外人生命財產ノ安全ハ、固ヨリ、我方ニ於テモ最モ顧念スル所デアルガ、是ガ爲ニハ租界附近ニ進出シ、我方ニ脅威ヲ與ヘツ、アル支那正規軍及ビ保安隊ヲ交戰距離外ニ撤退セシメ、租界附近ノ軍事施設配備ヲモ亦常態ニ復スルノ用意アル旨ヲ答ヘ之ヲ撤收スルコトガ先決問題デ、支那側ガ右條件ヲ受諾スルニ於テハ、我方陸戰隊ノヘマシテ、關係列國ニ於テ先ツ支那側ヲシテ、右條件ヲ受諾セシムルヤウ在支大使ヲシテ五國側ニ申入レシメタノデアリマス、然ルニ支那側ハ右我方ノ應急適切ナル條件ニ對シマシテモ、耳ヲ傾ケナカツタ由デアリマスガ、續イテ八月十三日ニハ更ニ上海ノ英、米、佛三國總領事ヨリ、交戰停止方ニ關スル新シキ一具體案ヲ示シテ參リマシテ、

英國ヨリハ更ニ八月十八日日支兩國政府ガ於テハ、英國政府ハ他ノ列國ガ英國ト共ニ同一行動ニ出ヅル限り、右責任ヲ取ルノ用意アル旨申出デタノデアリマス、佛蘭西政府モ亦翌十九日英國政府ノ申出ヲ支持スル旨申出デタノデアリマスガ、是ヨリ先、米國政府側カラモ上海ニ於ケル戰鬪停止方ニ付テノ希望ヲ申述べテ參ツテ居ツタノデアリマス、帝國ト致シマシテモ是等諸國ト同様、上海ニハ重大ナル利害關係ヲ持ツテ居ルコトニ鑑ミマシテ、出來得ルダケ同地ノ平穩ヲ冀念スル次第アリマスガ、前申述ベマシタヤウニ、今次上海ニ於ケル支那側ノ行動ハ昭和七年ノ上海停戰協定ニ違反シ、濫ニ正規軍ヲ協定地域内ニ入レ、保安隊ノ數及び武裝ヲ増強シ、衆ヲ恃ンデ我軍民ニ挑戰シ來ツタ次第アリマスノデ、右英國政府ノ申出ニ對シマシテハ、我方從來ノ平和的努力竝ニ支那側ノ不法攻擊ノ實情ヲ述べマシテ、上海ニ於ケル戰鬪ハ、支那側ガ直チニ右正規軍ヲ協定地域外ニ撤退シ、保安隊ヲ前線ヨリ遠ザクルコトニ依リテノミ終熄スルノ外ナ

タル結果ニ外ナラナイノデアリマスキ旨ヲ回答致シマシテ、英國モ停戰協定開



致ス次第アリマス、尙ホ事變關係ニ依ル急激ナル物資ノ需要增加ニ伴ヒ、動モスレバ過當ナル物價騰貴ヲ招來スルコトモ考ヘラレマスルノデ、暴利取締令ノ運用等ニ依リマシテ適切ナル措置ヲ講ジ、是ガ對策ニ遺憾ナキヲ期シタイト思フ 次第アリマス、又此資金及ビ物資ノ調整ニ關シマシテハ、財政ノ方面ニ於テモ十分考慮スルコトト致シ、昭和十三年度豫算ノ編成ニ於テハ、時局ノ爲メ必要ナル經費ノ外ハ出來ル限り是ガ計上ヲ差控フル方針アリマシテ、昭和十二年度豫算ニ關シマシテモ、右ノ趣旨ニ基キ節約ヲ實行スルコト致シ、地方公團體ノ財政ニ付テモ亦同様ノ方針ニ依ラシムル積リデアリマス

今後公債發行額ノ増加ニ伴ヒ、公債政策ノ運用ニ付テハ一層意ヲ用フベキモノト考

ヘマス、政府ハ右ニ申述べマシタ資金ノ調

整ニ關スル法律ニ依ル資金ノ調整、預金部

資金、其他ノ政府關係資金ノ運用、公債ノ郵

便局賣出等ニ依リ、時宜ニ應ジタル對策ヲ講

ジテ參ル積リデアリマス、故ニ金融機關ハ固ヨリ國民一般ガ國家的見地ニ立チテ公債

消化ニ協力支援セラル、コトハ、今後最モ

必要ノコト考フルノデアリマス、尤モ公

債ノ消化ニ付テハ金融界ノ實情ニ即スルコ

トガ肝要デアリマスノデ、常ニ先づ資金ノ供給ヲ潤澤ニシ、金融ノ疏通ニ支障ヲ生ゼザルヤウ十分留意致ス考デアリマス、尙ホ公債ノ利廻ニ付テハ現在ノ水準ヲ維持スル方針デアリマシテ、又外國爲替相場ニ付キ

マシテモ、對英一志二片ノ水準ヲ維持致シマスルコトハ、軍需ノ充足並ニ國民生活ノ安定ヲ圖ル爲メ必要ナル要件デアルト考ヘマスルノデ、依然是ガ堅持ニ努ムル方針デアリマス

事變發生以來各方面ニ於テ舉國一致ノ態勢ガ如實ニ示サレツ、アルコトハ、洵ニ心強ク感ジテ居ル次第アリマス、政府ハ今後時局ニ對處シ出來得ル限りノ努力ヲ拂ヒ、財政經濟上必要ナル各般ノ措置ヲ講ズル積リデアリマスルガ、右ハ結局國民一般ガ能ク時局ヲ認識シ、朝野渾然一體トナッテ初メテ其成果ヲ收メ得ルモノト考ヘマスルノデ、今後共一層國民一般ノ舉國的協力支援ヲ切望致ス次第アリマス

終リニ臨ミ政府提出ノ豫算案ニ付キマシテハ、何卒速ニ協賛ヲ與ヘラレントコトヲ切望致ス次第アリマス(拍手)

○議長(小山松齋君) 陸軍大臣杉山元君

(國務大臣杉山元君登壇)

○國務大臣(杉山元君) 第七十一議會後ニ於キマスル支那事變經過ノ概要ヲ説明致シマス

七月末支那駐屯軍ハ平津地方ニ於ケル第

二十九軍ヲ膺懲セル後、一部ヲ以テ北平ノ西南約五里、永定河右岸ニアル長辛店附近ヲ占領シマシタ、其他ヲ以テ平津地方ニ於

ケル敗殘兵ヲ掃蕩シテ、該地方ノ秩序恢復

ヲ圖リマスルト共ニ、依然事件不擴大方針ノ

下ニ支那側ガ自省自戒シテ、平和的ニ事件

ヲ解決セシコトヲ期待致シテ居リマシタ、

然ルニ支那側ハ依然梅津、何應欽協定ヲ踩踏シテ、平漢線、津浦線、此兩方面ニ益中北軍ヲ北上セシメテ我ニ戰鬪ヲ挑ミ、又北安定ヲ圖ル爲メ必要ナル要件デアルト考ヘマスルノデ、依然是ガ堅持ニ努ムル方針デアリマス

馬シテモ、對英一志二片ノ水準ヲ維持致シマスルコトハ、軍需ノ充足並ニ國民生活ノ安定ヲ圖ル爲メ必要ナル要件デアルト考ヘマスルノデ、依然是ガ堅持ニ努ムル方針デアリマス

事變發生以來各方面ニ於テ舉國一致ノ態勢ガ如實ニ示サレツ、アルコトハ、洵ニ心強ク感ジテ居ル次第アリマス、政府ハ今後時局ニ對處シ出來得ル限りノ努力ヲ拂ヒ、財政經濟上必要ナル各般ノ措置ヲ講ズル積リデアリマスルガ、右ハ結局國民一般ガ能ク時局ヲ認識シ、朝野渾然一體トナッテ初メテ其成果ヲ收メ得ルモノト考ヘマスルノデ、今後共一層國民一般ノ舉國的協力支援ヲ切望致ス次第アリマス

終リニ臨ミ政府提出ノ豫算案ニ付キマシテハ、何卒速ニ協賛ヲ與ヘラレントコトヲ切望致ス次第アリマス(拍手)

○議長(小山松齋君) 陸軍大臣杉山元君

(國務大臣杉山元君登壇)

○國務大臣(杉山元君) 第七十一議會後ニ於キマスル支那事變經過ノ概要ヲ説明致シマス

七月末支那駐屯軍ハ平津地方ヨリ敗退シマシタ敵

ハ、平漢線方面ニ於テハ北平ノ西南約三十

里ノ保定北方地區ニ於テ、又津浦線方面ニ

于テハ天津ノ西南約十五里ノ馬廠附近ニ於

テソレム、中央軍ト合體シ、此處ニ著々戰

闘準備ヲ固メ、軍隊ノ集中、陣地ノ構築、

作戰資材ノ集積等ニ餘念ナク、其兵力今ヤ

三四十万ニ達シマシテ、其陣地ハ逐次東西

ニ延長セラレテ蜿蜒實ニ四十里ニ亘ツテ居

リマス、即チ保定附近ニ於キマシテハ、同

地ノ西北方約五里ノ險峻ナル山岳地帶ヨリマシタル後直チニ南口ニ向ヒ前進シテ、同地

附近一帶ノ險峻ナル山地ニ堅固ナル陣地ヲ占領セル優勢ナル敵ニ對シマシテ、八月十一日攻撃ヲ開始致シマシタ、敵ハ數線ニ重疊セル陣地ニ據リ頑強ナル抵抗ヲ反復致シマシタガ、我軍ハ増加兵團ノ到著ニ伴ヒマシテ、強襲ニ次グニ強襲ヲ以テシ、八月十四日遂ニ長城線ノ要害デアリマス居庸關ヲ攻略致シマスルト共ニ、敵ノ側面ニ肉薄ヲ致シマシテ、次デ南口山脈北門ノ要衝デアリマス八達嶺ヲ越エテ敗敵ノ追擊ニ移リマシタ、他方關東軍ノ一部ハ多倫方面ヨリ遠ク張家口方面ニ進撃致シマシテ、到ル處頑強ナル敵ノ抵抗ヲ排除シツ、八月二十七日ニ張家口ヲ占領シ、茲ニ南口及ビ南口ノ西方地區ヨリ前進シマシタ我軍ト相呼應シテ敵ノ腹背ヲ衝キマシタ、又陸空兩方面ヨリスル猛烈ナル攻撃ニ依リ、敵ニ徹底的ノ打撃ヲ與ヘ、其四五師團ヲ殆ド潰滅致シマシテ偉大ナル戰果ヲ獲得シマシタ、此戰鬪ニ於テ敗走セル敵ハ遠ク山西省北境ノ要地デアリマス大同方面ニ退却致シマシテ、同地ノ東北約十里ノ陽高カラ陽原ヲ經テ、更ニ其東南方蔚縣ノ線ニ陣地ヲ占領シツ、アル模様デアリマス

斯ノ如ク駐屯軍ハ各地ニ轉戦シマスル傍ラ、平津地方ニ於キマスル民心ノ安定、交通、通信ノ復舊ニ努メマシテ、今後ニ於ケル活動ノ準備ニ努力ヲ致シテ居リマス  
次ニ上海方面ニ於キマシテハ、陸軍ノ有力ナル部隊ガ派遣ヲセラレマシテ、其先頭

部隊ハ八月二十三日未明ニ海軍ノ極メテ緊密適切、且ツ果敢ナル協同動作ノ下ニ、揚子江ノ下流吳淞附近ニ於テ該江岸ニ陣地ヲ占領致シテ居リマス敵ヲ擊破シテ、危險ナシテ、強襲ニ次グニ強襲ヲ以テシ、八月二十一日遂ニ長城線ノ要害デアリマス居庸關ヲ攻撃致シマスルト共ニ、敵ノ側面ニ肉薄ヲ致シマシテ、次デ南口山脈北門ノ要衝デアリマス八達嶺ヲ越エテ敗敵ノ追擊ニ移リマシタ、他方關東軍ノ一部ハ多倫方面ヨリ遠ク張家口方面ニ進撃致シマシテ、到ル處頑強ナル敵ノ抵抗ヲ排除シツ、八月二十七日ニ張家口ヲ占領シ、茲ニ南口及ビ南口ノ西方地區ヨリ前進シマシタ我軍ト相呼應シテ敵ノ腹背ヲ衝キマシタ、又陸空兩方面ヨリスル猛烈ナル攻撃ニ依リ、敵ニ徹底的ノ打撃ヲ與ヘ、其四五師團ヲ殆ド潰滅致シマシテ偉大ナル戰果ヲ獲得シマシタ、此戰鬪ニ於テ敗走セル敵ハ遠ク山西省北境ノ要地デアリマス大同方面ニ退却致シマシテ、同地ノ東北約十里ノ陽高カラ陽原ヲ經テ、更ニ其東南方蔚縣ノ線ニ陣地ヲ占領シツ、アル模様デアリマス

海西方虹桥飛行場附近越界路上ニ於テ、上  
海特別陸戰隊ノ大山中尉及ビ齊藤水兵ハ不  
法ニモ支那保安隊ノ爲メ射擊セラレ、無殘  
ナル死ヲ遂グルニ至ッタノデアリマス、海  
軍ト致シマシテハ事茲ニ至リマシテモ尙ホ  
能ク事件ノ真相ヲ調査シ、外交交渉ニ依リ  
最モ公正安當ニ事件ノ解決セラレンコトヲ  
冀ツタノデアリマスガ、支那側ハ毫モ反省  
スル所ナク、停戰協定ヲ無視シテ益々租界  
附近ノ軍事施設ヲ增築スルノミナラズ、多  
數ノ正規軍ヲ侵入セシメ、我ガ居留地ノ四  
周ハ文字通リ銃砲ノ垣ヲ以テ張リ廻サレ、  
眞ニ危機一髮ノ情勢トナリマシタノデアリ  
マス、是ニ於テ我第三艦隊司令長官ハ在  
留民保護上、其萬全ヲ期センガ爲メ、八月  
十一日一部ノ兵力ヲ上海ニ增强スルノ手段  
ヲ執ツタ次第デアリマスガ、支那側ハ十二  
日早曉ヨリ益々挑戦的行動ニ出テ参リマシ  
テ、租界内在留邦人ノ生命ハ非常ナル危險  
ニ曝サル、ニ至ッタノデアリマス

海軍ト致シマシテハ斯ル事態ニナリマシ  
テモ、依然平和的收拾ニ一縷ノ望ヲ囁シマ  
シテ、關係省ト共ニ努力シタノデアリマス  
ガ、八月十三日午前九時過租界警備中ノ我  
ガ陸戰隊員ハ、支那便衣隊ノ射撃ヲ受ケ、  
次デ支那正規軍ノ攻撃ヲ被リ、遂ニ應戦ス  
ト協力シ、寡兵ヲ以テ數万ノ支那軍ニ對抗  
シ、派遣陸軍來著マデ十有餘日間善戦力闘  
爾來我ガ陸戰隊ハ海上部隊及ビ航空部隊  
能ク租界ヲ堅守シ、更ニ陸軍ノ揚陸ニ際シ  
テハ、關係各部隊ハ完全ニ海陸協同ノ實ヲ  
擧ガ、爾後ノ作戦ヲ順調ニ進捗セシメテ居  
リマス（拍手）又航空部隊ハ上海附近ノ作戦  
所、翌十四日午前支那軍ハ又復我ヲ攻擊シ  
領事館等ニ對シ不法ニモ爆撃ヲ加ヘ、遂ニ  
ハ外國居留民及ビ自國民ノ居住地マデ爆撃  
シ、幾多無辜ノ人々ヲモ殺傷スルニ至リマシ  
タノデ、隱忍ニ隱忍ヲ重ネテ參リマシタ我  
モ居留民保護ノ爲メ、敢然起テ實力ヲ行使  
シ、暴戾極マル支那軍ヲ膺懲シ、其反省ヲ促サ  
ザルヲ得ザルニ立至ッタノデアリマス（拍手）  
帝國海軍トシテハ豫て今日アルヲ憂慮  
シ、萬一ニ對スル準備ヲ完整シテ居リマシ  
トノデアリマスガ、今ヤ不幸ニシテ一刻モ  
速ニ其發動ヲ見ネバナラヌ情勢トナッタノ  
デアリマス、當時上海沖合ニハ猛烈ナル颶  
風ガ停滯シテ居リマシタガ、我ガ海軍航空  
部隊ノ一部ハ之ヲ突破シ、異常ナル惡天候  
ト戰ヒツ、十四日夕刻長驅シテ杭州及ビ  
廣德ノ飛行場ヲ爆撃シ、敵ノ格納庫、飛行  
機及ビ飛行場ニ多大ノ損害ヲ與ヘマシタ  
（拍手）又我ガ上海特別陸戰隊ハ寡兵能ク十  
倍ニ餘ル衆敵ニ對シ、居留民保護ノ爲メ敢  
然トシテ銃砲火ヲ開イタノデアリマス

ノデ、極メテ複雜機微ナル國際關係ヲ伴ツテ  
ニ保護スルノ必要ガアリ、又列國ノ權益及  
ビ其居留民竝ニ警備ノ爲ニ派遣セラレタル  
各國艦船、軍隊等モ多數存在シテ居リマス  
ニ保護スルノ必要ガアリ、又列國ノ權益及  
ビ其居留民竝ニ警備ノ爲ニ派遣セラレタル  
各國艦船、軍隊等モ多數存在シテ居リマス  
ノデ、極メテ複雜機微ナル國際關係ヲ伴ツテ  
ニ當リマシテハ、濫ニ支那船舶又ハ載貨等  
ヲ沒收スルコトナク、國際正義ニ立脚スル  
至リマシタ次第アリマス、併シ是ガ實施  
ニ當リマシテハ、濫ニ支那船舶又ハ載貨等  
ヲ沒收スルコトナク、國際正義ニ立脚スル  
自衛手段ノ範圍ヲ出デナイコトシ、又第  
三國及ビ帝國ノ船舶ニハ右交通遮断ヲ適用  
セズ、特ニ第三國船舶ノ平和的通商ハ之ヲ  
尊重スルノ立前ヲ執ルコトニ致シテ居リマ  
ス

次ニ青島方面ノ情勢ニ付テ説明致シマス、  
ノ苦心ヲ拂テ居ル次第アリマス（拍手）  
幸ニ今日マデニ左程重大ナル問題ヲ起シ  
テハ居リマセヌガ、去ル二十六日戰線附近  
通行中ノ駐支英國大使ガ負傷致シマシタコ  
トハ、誠ニ御氣ノ毒ナ出來事デアリマシテ、  
ニ協力スルノ外、南京、南昌、九江、漢  
口、孝感、蘇州、杭州、廣東、漳州、徐州等  
之ニ關シ英國政府ヨリ我國ニ對シテ抗議ガ  
アリマシタコトハ御承知ノ通リデアリマス  
ガ、我方ト致シマシテハ、慎重精細ニ實情  
ヲ取調べ、適當ニ處置致シタイト考ヘテ居  
リマス（拍手）  
右ノ如クニシテ帝國海軍ハ中南支方面ニ  
於ケル帝國臣民ノ生命財産、權益ノ擁護ノ  
爲メ必要ナル自衛ノ手段ヲ執ルコトヲ餘儀  
ナクセラレタ次第アリマスガ、支那ハ益々  
艦砲及ビ陸戰隊ヲ以テ陸戰ニ協力シ、又他  
ノ大部ノ艦艇ハ陸軍ノ輸送及ビ輸送船團ノ  
護衛等ニ馳驅シ、又飛行機ヲ以テ上海方面  
ノ陸上戰闘ニ協力シ、連日敵陣地及び其背  
後ノ飛行場ヤ、補給線等ノ爆撃ヲ實施シテ  
居ルノデアリマシテ、其活躍ノ状況ハ其都  
度公表致シテ居リマス通リデアリマス  
茲ニ一言致シタイト思ヒマスコトハ、御  
承知ノ通リ今回ノ作戦地域ニハ、我ガ居留  
民ガ多數存在シテ居リマスノデ、之ヲ安全  
ニ保護スルノ必要ガアリ、又列國ノ權益及  
ビ其居留民竝ニ警備ノ爲ニ派遣セラレタル  
各國艦船、軍隊等モ多數存在シテ居リマス  
ノデ、極メテ複雜機微ナル國際關係ヲ伴ツテ  
ニ當リマシテハ、濫ニ支那船舶又ハ載貨等  
ヲ沒收スルコトナク、國際正義ニ立脚スル  
至リマシタ次第アリマス、併シ是ガ實施  
ニ當リマシテハ、濫ニ支那船舶又ハ載貨等  
ヲ沒收スルコトナク、國際正義ニ立脚スル  
自衛手段ノ範圍ヲ出デナイコトシ、又第  
三國及ビ帝國ノ船舶ニハ右交通遮断ヲ適用  
セズ、特ニ第三國船舶ノ平和的通商ハ之ヲ  
尊重スルノ立前ヲ執ルコトニ致シテ居リマ  
ス

舗ハ閉サレ、食糧購入ニモ不便ヲ感ズルニ

至リ、又郊外滄口、四方方面ノ日本人經營紛  
續工場モ閉鎖ノ已ムナキニ至リ、形勢益切  
迫シテ參リマシタノデ、關係省トモ協議ノ  
上、成ベク青島ヲ戰禍ヨリ救フ爲メ居留民  
ノ總引揚ヲ決行スルコトトナリ、昨四日無  
事完了致シマシタ次第ニアリマス、今次事  
變ノ海軍ニ關スル處置ノ概要ハ以上ノ通り  
ニアリマス

○議長(小山松齋君) 御異議ナシト認メマ  
ス、政府ハ此議事日程變更ニ同意セラレマ  
シタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——決  
議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明  
ヲ許シマス——提出者島田俊雄君、  
田忠治君外六十一名提出)

決議案(陸海軍ニ對スル感謝ノ件) (町  
決議案)

支那事變勃發以來轉戰既ニ幾十日我カ陸  
海軍將兵諸士ハ彈雨ヲ冒シ炎暑ニ堪ヘ寡  
兵以テ克ク衆敵ニ對シ刻苦淬勵義ヲ泰山  
ノ重キニ任シ死ヲ鴻毛ノ輕キニ比シ奮戰  
激鬪北ニ南ニ連勝ノ功勳ヲ立テ國威ヲ中  
外ニ發揚ス是レ固ヨリ御稜威ノ然ラシム  
ル所ニシテ其ノ忠勇義烈ハ國民ノ齊シク  
ニ對シ、海軍ヲ代表シマシテ深ク感謝致シ  
マスルト共ニ、出征將兵ヲシテ後顧ノ憂ナ  
ク征戰ニ從事セシメ得ルヤウ、此上共、各  
位ノ御後援ヲ御願致シタイト存ジマス (拍  
手)

終リニ臨ミ國民各位ヨリ事變以來我ガ海  
軍ニ寄セラレマシタ絶大ノ御後援、御同情  
ニ對シ、海軍ヲ代表シマシテ深ク感謝致シ  
マスルト共ニ、出征將兵ヲシテ後顧ノ憂ナ  
ク征戰ニ從事セシメ得ルヤウ、此上共、各  
位ノ御後援ヲ御願致シタイト存ジマス (拍  
手)

○中山福藏君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ  
提出致シマス、即チ此際町田忠治君外六十  
一名提出ノ決議案、陸海軍ニ對スル感謝ノ  
件ヲ議題ト爲シ、其審議ヲ進メラレンコト  
ヲ望ミマス

○議長(小山松齋君) 中山君ノ動議ニ御異  
議アリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

ハ、去ル七月七日蘆溝橋ニ於ケル支那軍ノ  
不法射擊事件ニ端ヲ發シマシテ、其後漸次  
ニ擴大ヲ致シマシテ、今日ノ如ク全面的ノ  
事變トナツタ次第ニアリマス、我國ト致シ  
マシテハ、事件ニ付テハ所謂不擴大、現地  
解決、此方針ヲ以テ進ンダノアリマスケ  
レドモ、支那ノ方ニ於テ态ニ協約ヲ蹂躪  
シ、盛ニ抗日ノ氣勢ヲ煽リ、大軍ヲ北支ニ集  
中スルノミナラズ、一方ニ於キマシテハ上  
海ニ於テモ亦事ヲ構フルニ至リ、終ニ南北  
ニ亘ツテ全面的ニ戰雲ヲ漲ラシムルニ至リ  
マシタコトハ、東亞大局ノ上カラ考ヘマシ  
テ洵ニ遺憾ノ至リデアリマス、此間ニ於キマ  
シテ我ガ陸海軍將兵諸士ヘ、轉戰既ニ幾十  
日ニ及ビ、硝煙彈雨ノ間ヲ潛リ、惡風土、惡氣  
候ニ耐エ、具ニ艱難ヲ嘗ムルト共ニ、寡兵ヲ  
以テ能ク衆敵ニ對シ、幾多ノ犠牲ヲ拂ウテ、連  
戰連勝ノ勳績ヲ樹テツ、アラレルノアリマ  
ス、是レ固ヨリ御稜威ノ然ラシムル所デア  
リマシテ、我ガ陸海軍將兵諸士ガ、義ハ泰  
山ヨリ重ク、死ハ鴻毛ヨリモ輕シトスル所  
ノ愛國ノ至誠ノ發露デアリマシテ、其忠勇  
義烈ノ精神ト活動トニ對シマシテハ、全國  
民ノ齊シク感激シテ已マザル所デアリマス  
(拍手)畏クモ 天皇陛下ニ於カセラレマシ  
テハ、昨日行ハセラレマシタル帝國議會ノ  
開院式ノ勅語ニ於カセラレテ、國民ノ嚮フ  
所ヲ示サセラル、ト共ニ、特ニ「朕力軍人  
ハ百難ヲ排シテ其ノ忠勇ヲ致シツツアリ」  
ト仰セラレマシタ、聖慮ノ洪大寔ニ恐懼措  
置アザル所デアリマス (拍手)

○島田俊雄君 登壇

只今議題トナリマシタ陸海  
軍ニ對スル感謝ノ件ニ付キマシテ、決議ヲ  
右決議ス

支那事變勃發以來轉戰既ニ幾十日我カ陸  
海軍將兵諸士ハ彈雨ヲ冒シ炎暑ニ堪ヘ寡  
兵以テ克ク衆敵ニ對シ刻苦淬勵義ヲ泰山  
ノ重キニ任シ死ヲ鴻毛ノ輕キニ比シ奮戰  
激鬪北ニ南ニ連勝ノ功勳ヲ立テ國威ヲ中  
外ニ發揚ス是レ固ヨリ御稜威ノ然ラシム  
ル所ニシテ其ノ忠勇義烈ハ國民ノ齊シク  
感激シテ已マザル所ナリ今ヤ事態ハ愈々

擴大シテ東亞安危ノ鍵一ニ懸テ此ノ機ニ 存ス 聖慮深遠優渥ナル 勅語ヲ賜ヒテ 國民ノ嚮フ所ヲ示サセ給フ諸士ノ責任重 大ニシテ其ノ勞苦推察ニ餘アリ衆議院ハ 特ニ院議ヲ以テ感謝ノ誠意ヲ披瀝シ將兵 諸士ノ勇健ヲ祈ル
右決議ス
右趣意ヲ説明致シマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 採決致シマス、本案 ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
(總員起立)
○議長(小山松壽君) 起立總員、仍テ本案 ハ全會一致可決致シマシタ
(拍手起立)
○議長(小山松壽君) 此際陸軍大臣及ビ海 軍大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス—— 杉山陸軍大臣
○國務大臣(杉山元君) 只今ハ派遣部隊ノ 將兵ニ對シマシテ、重ネテ全院一致御懇願 ナル決議ヲ賜リマシテ洵ニ感謝ニ堪ヘヌ所 デアリマス、本決議ハ速ニ派遣部隊ノ將兵 ニ傳達ヲ致シマス、派遣ノ將兵モ此決議ニ 依リマシテ、益々奮激励サレマシテ、一層 一死報國ノ念ヲ固メテ各位ノ御期待ニ副ハ シコトヲ期スルモノト確信ヲ致シマス、茲 ニ陸軍ヲ代表致シマシテ、衷心ヨリ深甚ナ ル謝意ヲ表シマス(拍手)
尙ホ事變勃發以來引續キマシテ國民各位 ヨリ熱誠溢ル、銃後ノ後援ヲ賜リマシテ、 派遣將兵一同ハ無上ノ感激ニ打タレマシテ
○議長(小山松壽君) 米内海軍大臣 (國務大臣米内光政君登壇)
會ニ於キマシテ陸海軍ニ對シ御懇願ナル決 議ヲ頂戴致シマシタ所、更ニ只今滿場一致 ノ院議ヲ以チマシテ、洵ニ御懇願ナル御慰 問竝ニ激勵ノ辭ヲ賜リマシタコトハ、洵ニ 感激ヲ新ニスルモノニアリマス、速ニ此決 議ヲ海軍全般ニ傳達致シマス
海軍ハ事變勃發以來今日ニ至ルマデ、善 戰成果ヲ收メツ、アリマスコトハ、固ヨリ 御稟威ノ然ラシムル所ト存ズルノニアリマ スルガ、内外朝野ノ別チナキ舉國一致ノ熱 誠ナル御後援ト御同情、亦之ヲ然ラシムル モノト考ヘルノデアリマス、只今ノ決議ニ 對シマシテ、我ガ海軍將兵ハ更ニ感激ヲ新 ニシ、勇躍其任務ニ服スルコトト確信致シ テ居ル次第アリマス、時局ハ多難デアリ マス、吾々ハ更ニ奮勵努力致シマシテ、宸襟
○國務大臣(杉山元君) 只今ハ派遣部隊ノ 將兵ニ對シマシテ、重ネテ全院一致御懇願 ナル決議ヲ賜リマシテ洵ニ感謝ニ堪ヘヌ所 デアリマス、本決議ハ速ニ派遣部隊ノ將兵 ニ傳達ヲ致シマス、派遣ノ將兵モ此決議ニ 依リマシテ、益々奮激励サレマシテ、一層 一死報國ノ念ヲ固メテ各位ノ御期待ニ副ハ シコトヲ期スルモノト確信ヲ致シマス、茲 ニ陸軍ヲ代表致シマシテ、衷心ヨリ深甚ナ ル謝意ヲ表シマス(拍手)
○中山福藏君 國務大臣ノ演説ニ對スル質 疑ハ、本日ノ議事日程ニ掲載セラレタル政 府提出法律案ニ對スル質疑ノ際併セテ之ヲ
第一 支那事變ニ關スル臨時軍事費支 辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政 府提出)
第二 臨時軍事費特別會計法案(政府 提出)
第三 支那事變ニ爲從軍シタル軍人及 軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫 等ニ關スル法律案(政府提出)
附 則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
臨時軍事費特別會計法案
第一條 支那事變ニ關スル臨時軍事費ノ 會計ハ一般ノ歲入歲出ト區分シ事件ノ 終局迄ヲ一會計年度トシテ特別ニ之ヲ 整理ス

ノ北支事件費及大藏省所管ノ北支事件  
第一豫備金並ニ其ノ財源ニ充ツベキ歲

入ハ之ヲ本會計ニ移シ整理ス

#### 附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ

對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案

第一條 政府ハ支那事變ノ爲從軍シタル

軍人及軍屬ノ納付スル昭和十二年以降ノ分ノ第三種所得稅、地租及營業收益稅ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ輕減又ハ免除スルコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ノ爲從軍シタル

軍人及軍屬ノ納付スル昭和十二年以降ノ分ノ第三種所得稅及營業收益稅付命令ヲ以テ課稅標準ノ決定ニ關スル特例ヲ設ク

第三條 政府ハ支那事變ノ爲從軍シタル

軍人及軍屬ノ本法施行後ニ於テ納付スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ同居ノ戸主又ハ

ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條 第一條又ハ前條ノ規定ニ依リ其ノ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人

及軍屬アル者ノ租稅ニ付之ヲ準用ス

第六條 第一條又ハ前條ノ規定ニ依リ其ノ財源ニ充ツベキ歲又ハ免除セラル租稅ハ法令上ノ納減又ハ免除セラルモノト看做ス

前項ノ規定ハ地方稅ニシテ支那事變ノ

爲從軍シタルニ因リ輕減又ハ免除セラルモノニ付之ヲ準用ス

#### 附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時資金調整法案

臨時資金調整法

第一條 本法ハ支那事變ニ關聯シ物資及資金ノ需給ノ適合ニ資スル爲國內資金ノ使用ヲ調整スルヲ目的トス

第二條 銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會(以下金融機關ト總稱ス)ハ事業ニ

屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ニ關スル資金ノ貸付ヲ爲シ又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ヲ爲サント

スルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ金融機關ニ非ズシテ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ヲ業トスル者(以下之ヲ證券引受業者ト稱ス)有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

第三條 金融機關又ハ證券引受業者前條ノ貸付又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ノ取扱ヲ認ムル方法ニ依リ自治的ニ調

集ノ取扱ニ關シ本法ノ目的ニ從ヒ政府ノ適當ト認ムル時局ニ緊要ナル事務ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシム

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

第一項ノ場合ニ於テ當該事務ニ從事スル日本銀行職員ト看做ス

第六條 日本興業銀行ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第七條 本興業銀行ハ五億圓ヲ限リ日本銀行法第十二條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ債券ヲ發行スルコトヲ得

ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ヲ適用セラルコトヲ得

前項ノ規定ハ地方稅ニシテ支那事變ノ

第四條 命令ノ定ムル會社ノ設立ハ政府

ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ會社ノ資本增加、合併又ハ目的變更ニシテ命令ノ定ムルモノニ付亦同ジ

命令ノ定ムル會社左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ政府ノ許可ヲ受クベシ第一回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスルトキ

二 株金ノ拂込、社債ノ募集又ハ金融機關ヨリノ借入ニ依ラズシテ命令ノ定ムル限度ヲ超ユル事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスルトキ

三 他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメズシテ社債ヲ募集セントスルトキ

第五條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條又ハ前條ノ許可又ハ認可ニ關スル事務ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシム

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

第六條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事務ヲ營ム會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲株金額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第七條 金資金ハ金資金特別會計法第四條ノ規定ニ依ルノ外之ヲ興業債券ニ運用スルコトヲ得

第八條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ハ事業擴張ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲株金額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第九條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲商法第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產ガ拂込ミタル株金額ニ満タザル

第一項ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ擔保附社債信託法ニ依ル物上擔保ヲ附スルコトヲ要ス

第十條 政府ハ第八條ノ規定ニ依リ資本ヲ增加シタル會社又ハ前條ノ規定ニ依リ社債ヲ募集シタル會社ニ對シ其ノ業

日本興業銀行法第十六條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

政府ハ第一項ノ規定ニ依リ發行スル債券ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ額面金額支拂ヲ保證スルコトヲ得

五億圓ヲ限リ其ノ元本ノ償還及利息ノ

務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ  
發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 資金使用ノ調整ニ關シ重要ナ  
ル事項ヲ調查審議スル爲臨時資金調整  
委員會ヲ置ク

第十二條 第二條、第四條、第八條又ハ  
第九條第一項ノ規定ニ依ル許可又ハ認  
可ニ關スル處分ニシテ事業ノ重要ナル  
モノニ付テハ臨時資金審査委員會ノ議  
ヲ經ベシ

臨時資金審査委員會ニ關スル規程ハ勅  
令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收  
入金二億圓ニ達スル迄貯蓄債券ヲ發行  
セシムルコトヲ得

貯蓄債券ハ無記名トシ券面金額ヲ二十  
圓以下トス

第十四條 貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ三  
十五年内ニ毎年二回以上抽籤ヲ以テ之  
ヲ償還スベシ

貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ賣出價格  
ノ百五十倍以内ノ割増金ヲ附與スルコ  
トヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣之ヲ  
定ム

前項ノ割増金ハ主務大臣ノ定ムル價格  
ニ依リ國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ  
得

第十五條 復興貯蓄債券法第三條、第五  
條、第六條第一項及第八條竝

= 日本勸業銀行法第三十五條ノ二、第  
三十五條ノ三、第四十條及第四十二條  
ノ規定ハ貯蓄債券ニ之ヲ準用ス

第十六條 政府ハ資金ノ狀況ヲ調査スル  
爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ム  
ル所ニ依リ左ノ各號ニ掲タル事項ニ關  
シ關係者ヨリ報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ  
他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

一 資金ノ需給及移動ニ關スル事項

二 有價證券ニ關スル事項

三 國際收支ニ關スル事項

四 事業ノ資金計畫ニ關スル事項

第十七條 左ノ各號ノ一一ニ當該スル者ハ  
五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケ  
ズシテ資金ノ貸付ヲ爲シ又ハ有價證  
券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ヲ爲  
シタル者

第十八條 左ノ各號ノ一一ニ該當スル者ハ  
五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分

二 第四條第二項ノ規定ニ違反シ許可  
ヲ受ケズシテ株金拂込ノ催告、設備  
ノ新設、擴張若ハ改良又ハ社債ノ募  
集ヲ爲シタル者

第十九條 本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太  
ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキ  
ハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ  
得

同條ニ左ノ一號ヲ加フ

十二 外國ニ在ル財產ニシテ第一號、  
第六號又ヘ第七號ニ掲ガザルモノノ  
ノ代理人、使用人其ノ他の從業者ガ其  
ノ業務ニ關シテ前二條ノ違反行爲ヲ爲  
スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前二  
條ノ罰金刑ヲ科ズ

第二十條 當該官吏、委員若ハ第五條第  
三項ニ規定スル日本銀行職員又ハ其ノ  
職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ  
關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ祕  
密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ千圓  
以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太  
ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキ  
ハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ  
得

一 金地金、外國通貨又ハ外國爲替  
二 外國通貨ヲ以テ表示スル證券若ハ  
債權又ハ本邦通貨ヲ以テ表示スル外  
國居住者ニ對スル債權

三 外國ニ在ル財產ニシテ前二號ニ掲  
ゲザルモノ

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之  
ヲ定ム

本法ハ第十四條及第十五條ヲ除キ支那事  
變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノト  
ス

第五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違  
反シ金貨幣、金地金、金ノ合金又ハ金  
ヲ主タル材料トスル物ヲ輸出スル目的  
ヲ以テ收得シ又ハ輸出セントシタル者  
亦前項ニ同ジ

外國爲替管理法中改正法律案

外國爲替管理法中左ノ通改正ス

第一條第七號ヲ第八號トシ以下順次一號  
宛繰下ゲ第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

七 本邦通貨ヲ以テ表示スル外國居住者  
ニ對スル債權又ハ債務ノ取得又ハ處分

米穀ノ應急措置ニ關スル法律案

第一條 政府ハ軍用ニ供スル爲必要アリ  
ト認ムルトキハ米穀需給調節特別會計

ニ屬スル米穀ノ賣渡ヲ行フコトヲ得  
前項ノ賣渡ノ價格へ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ必要ナル數量ノ米穀ヲ保有スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ

リ米價ガ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最高價格ノ一定割合ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限リ米穀統制委員會ニ諮問シテ米穀ノ買入ヲ行フコトヲ得

前項ノ買入ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第三條 前二條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡又ハ買入ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

臨時肥料配給統制法案

#### 臨時肥料配給統制法

第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ肥料ノ

需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ適當ト認ムル者ニ對シ

肥料ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ事業ヲ行フ者ノ監督其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ肥料製造業者又ハ其ノ組織ノ事業ヲ行フ者ニ賣渡スペキコトヲ得

スル法人ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リノ事業ヲ行フ者ニ賣渡スペキコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ前條ニ定ムルモノノ外肥料ノ販賣、使用、消費、移動又ハ輸出入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第三條 政府必要アリト認ムルトキハ肥料ノ製造、取引、保管又ハ運送ヲ業トスル者ニ對シ前二條ノ命令ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査検査ヲ爲スコトヲ得

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案

#### 法律案

第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁品ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

第六條 肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令

又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ場合ニ於テヘ輸出又ハ輸入ヲ爲スコトヲ得

第三條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査検査ヲ爲スコト能ヘザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案

#### 法律案

第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査検査ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

第六條 第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲ス者、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨げ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

第七條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ代理人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反

二 當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給、讓渡、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト

第三條 政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ前條ノ命令若ハ處分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第四條 第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反シテ輸出又ハ輸入ヲ爲スルコト能ヘザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テヘ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サンントシタル物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ヘザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第五條 第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ヘ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案

#### 法律案

第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査検査ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

第六條 第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲ス者、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨げ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

第七條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ代理人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反

行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スル  
ノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前三條ノ

罰金刑ヲ科ス

第八條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店  
又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表  
者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ  
本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ  
之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル  
人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從  
業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行  
爲ニ付亦同ジ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止  
スルモノトス

臨時船舶管理法  
第一條 本法ハ支那事變ニ關聯シ海上ニ  
於ケル一般交通運輸ノ調整ヲ圖ルヲ目  
的トス

第二條 本法ニ於テ運航業者トハ帝國臣  
民又ハ帝國法人ニシテ海上ニ於テ人又  
ヘ物ヲ運送スル事業ヲ營ム者ヲ謂フ  
第三條 日本船舶へ命令ヲ以テ定ムルモ  
ノヲ除クノ外之ヲ日本船舶（關東州ニ  
行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）  
ヲ所有スルコトヲ得ザル者ニ譲渡シ、  
貨渡シ（期間借船ヲ含ム）、擔保ニ供シ  
又ハ引渡サントストキハ政府ノ許可  
ヲ受クベシ

前項ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用ス  
第四條 日本船舶ヲ所有スルコトヲ得ル  
者日本船舶（關東州ニ行ハルル命令ニ  
依ル日本船舶ヲ含ム）ニ非ザル船舶ヲ  
取得セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受  
クベシ但シ命令ヲ以テ定ムル船舶ニ付  
テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 政府ハ運航業者ニ對シ外國諸港  
間ノ運送ヲ爲スコトヲ禁止又ハ制限ス  
前項ノ許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得  
ルコトヲ得

第六條 政府ハ運航業者ニ對シ航路、就  
航區域又ハ運送スペキ人若ハ物ヲ指定  
シテ航海ヲ命ズルコトヲ得

第七條 政府ハ運航業者、船舶所有者又  
ヘ造船業者ニ對シ運賃、船舶ノ賃料  
(期間傭船料ヲ含ム)又ハ其ノ製造若ハ  
賣買ノ價格ニ關シ必要ナル命令ヲ爲ス  
コトヲ得

第八條 政府ハ造船業者ニ對シ船舶ノ製  
造順位ノ變更、材料又ハ艦載品ノ取得  
ノ調整其ノ他船舶ノ製造ニ關シ必要ナ  
ル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ運航業者又ヘ船舶所有者  
ニ對シ船舶ノ施設又ハ乗組員ノ保護若  
ハ整備ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト  
ヲ得

第十條 政府ハ運航業者、船舶所有者又  
ヘ造船業者ニ對シ其ノ業務ノ狀況ニ關  
シ報告ヲ爲シムルコトヲ得

第十一條 政府ハ遠洋航路補助法ニ依  
ル罰金ニ處ス

補助航海ニ使用スル船舶ノ資格ニ付命  
令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十二條 政府ハ船舶職員法ニ依リ船舶  
ニ乗組マシムベキ船舶職員ノ定員又  
ハ其ノ免狀ノ種類ニ付命令ヲ以テ別段  
ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第七條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲  
サンストスルトキハ船舶管理委員會ノ議  
會又ハ本法ニ基ク命令ニ違反シタルト  
キハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ  
ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十四條 第三條ノ規定ニ違反シ許可ヲ  
受ケズシテ日本船舶ヲ讓渡シ、貸渡シ  
(期間傭船ヲ含ム)、擔保ニ供シ又ヘ引  
渡シタル者ハ二年以下ノ懲役又ヘ三千  
圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ  
一年以下ノ懲役又ヘ二千圓以下ノ罰金  
ニ處ス

第一條 第四條第一項ノ規定ニ違反シ許可  
ヲ受ケズシテ船舶ヲ取得シタル者  
ニ違反シタル者

第二條 第四條第二項ノ規定ニ依リ附シタ  
ル條件ニ違反シタル者

第三條 第五條ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限  
令ニ違反シタル者

第四條 第六條又ヘ第七條ノ規定ニ依ル命  
令ニ違反シタル者

第五條 第八條又ヘ第九條ノ規定ニ依  
ル命令ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ  
罰金ニ處ス

第十七條 第十條ノ規定ニ違反シ報告ヲ  
爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ  
五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 運航業者、船舶所有者又ハ造  
船業者ハ支配人其ノ他ノ代理人又ハ船  
長其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本  
法又ハ本法ニ基ク命令ニ違反シタルト  
キハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ  
ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十九條 本法又ハ本法ニ基ク命令ニ依  
リ運航業者、船舶所有者又ハ造船業者  
ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナル  
トキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業  
務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁  
治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之  
ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一  
ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ  
限ニ在ラズ

第二十條 前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ  
刑ニ處スルコトヲ得ズ

第二十一條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ  
本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ  
代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業  
者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲  
ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有  
スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他  
從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル  
行爲ニ付亦同ジ

第二十二條 本法及本法ニ基ク命令中船  
舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ他  
合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキ

ハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

第二十三條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第十一

條乃至第十三條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以

テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止

スルモノトス

(國務大臣賀屋興宣君登壇)

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今議題ト相成  
リマシタ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨  
ノ爲公債發行ニ關スル法律案外四件ニ付キ  
提案ノ理由ヲ説明申上げマス、先づ支那事  
變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ  
付キ、租稅ノ減免及ビ徵收猶豫等ヲ行フコト  
ガ適當デアルト認ムルノデアリマスルガ、  
現行法ヲ適用致シマスルノミテハ、尙ホ十  
分デアリマセヌノデ、茲ニ支那事變ノ爲  
メ從軍シタル軍人及ビ軍屬ニ對シ、租稅ノ  
減免及ビ徵收猶豫等ノ途ヲ開ク爲メ、本案  
ヲ提出致シタ次第アリマス

次ニ臨時資金調整法案ニ付キ提案ノ理由  
ヲ説明申上げマス、本法案ハ今回ノ支那事  
變ニ關聯致シマシテ、物資及ビ資金ノ需給  
ノ適合ヲ圖ル爲メ、國內資金ノ使用ヲ調整  
スルコトヲ目的トスルモノデアリマシテ、  
其内容ハ事業資金ノ調整ヲ主トシ、貯蓄債  
券ノ發行及び資金狀況ノ調査ノ事項ヲモ含  
メ、政府ノ許可ヲ受ケシムルコトトシ、  
又一定額以上ノ資本ノ會社ノ設立、增资等  
業ノ資金調達ノ便宜ヲ圖ルコトト致サント  
スルノデアリマス

次ニ臨時軍事費特別會計法案ニ付キ御說  
明申上ゲマス、日支間ノ事變ニ關スル經費  
ニ付キマシテハ、曩ニ第七十一回帝國議會  
ニ於テ、當時必要ト認メマシタル金額ノ御  
協賛ヲ經タ次第アリマスルガ、其後事態  
ノ發展ニ伴ヒマシテ、軍事行動ノ爲メ多額  
ノ費用ヲ支拂フ事、是等の費用ヲ支拂フ事  
ガ收支ハ其性質上一般ノ會計ト區分シ、事  
件ノ終局ニ至ルマデヲ一會計年度トシテ經  
理スルノ必要ガアリマスルノデ、之ニ關ス  
ル臨時軍事費特別會計法案ヲ提出致シタ次  
第デアリマス

次ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬  
ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル  
法律案ノ要旨ヲ御説明申上げマス、支那事  
變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對シマシテ  
ハ、租稅ノ減免及ビ徵收猶豫等ノ途ヲ開ク爲  
メ、茲ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬  
ニ對シ、租稅ノ減免及ビ徵收猶豫等ノ途ヲ  
開ク爲メ、本法案ハ今回ノ支那事變ニ付キ  
提出致シタ次第アリマス

右ニ申述ベマシテ如ク、資金ノ調整ヲ致  
シマスルト同時ニ、今後増大スペキ事業資  
本ノ需要ニ應ジマスルガ爲ニ、一般金融機  
關ガ其機能ヲ發揮スルコトニ期待致シテ居  
ルモノデアリマスルガ、特ニ政府ハ今日日  
本興業銀行ガ五億圓ヲ限リ、現在ノ制限以  
上ニ興業債券ヲ發行シ得ルコトト致シ、  
此分ノ債券ニ付テハ是ガ元利支拂ヲ政府  
ニ於テ保證スルコトト致シ、又金資金特  
別會計所屬ノ資金ヲ興業債券ニ運用スル途  
ヲ開キマシテ、更ニ時局ニ緊切ナル事業ヲ  
營ム會社ニ於キマシテハ、政府ノ認可ヲ受ケ  
マシテ、株金全額拂込ノ前ト雖モ增资ヲ爲  
シ、又ハ拂込ミタル株金額ノ二倍マデ社債  
ヲ募集シ得ルコトト致シマシテ、是等ノ事  
業ノ資金調達ノ便宜ヲ圖ルコトト致サント  
スルノデアリマス

次ニ今回ノ事變ニ伴ヒ、收入ガ急激ニ増  
加スル方面モアリマスルノデ、此方面ノ國

民層ノ溢費ヲ防ギ、其貯蓄ヲ獎勵シ、併セ  
テ是等零細資金ヲ適當ニ吸收致シマスルコ

等資材ノ豊富デナイ我國ト致シマシテハ、  
別ニ一々政府ノ

調整致シマスル場合ニハ、別ニ一々政府ノ

許可ヲ受ケシムル必要モナイノデアリマシ  
テ、右ノ許可制度ヲ適用セザルコトト致シ  
テノデアリマス、而シテ實際上ハ主トシテ  
輸入致シマスルコトハ、適當デナインデア  
リマスルカラ、若シ別ニ方策ヲ講ジナイデ  
置キマスルナラバ、此際最モ必要ナル軍需  
關係竝ニ時局ニ緊切ナル生產事業關係ノ資  
材ニ、不足ヲ來ス處ナシトシナインデアリ  
マス、故ニ此際ト致シマシテハ、資材ガ當  
面不必要ナル方面ニ使用セラル、コトヲ抑  
止致シマスルト共ニ、必要ナル方面ニハ之  
ヲ圓滑且ツ潤澤ニ供給スルノ方策ヲ講ズル  
コトガ、極メテ肝要デアルト信ズルノデア  
リマス、齎ツテ資金ノ方面ヨリ見マシテ  
モ、時局ノ爲メ必要ナル物資ノ生產ニ對シ  
リマス、資金ノ供給ヲ潤澤ナラシムルノ要ア  
ルハ勿論、他面巨額ノ公債ヲ消化シテ參リ  
マスル上ニ於キマシテモ、此際新規ノ投資  
ヲ適當ニ調整シ、資金ガ國防其他時局ニ緊  
切ナル用途ニ向ケラレマスルヤウニ致シマ  
スルコトガ、極メテ肝要ナノデアリマス、  
此意味ニ於キマシテ、政府ハ金融機關等ガ  
事業設備ニ關シ資金ノ貸付ヲ爲シ、又ハ社  
債其他ノ有價證券ノ引受等ヲ行ヒマスル場  
合ニ、政府ノ許可ヲ受ケシムルコトトシ、  
又一定額以上ノ資本ノ會社ノ設立、增资等  
ニ付テモ、政府ノ認可ヲ受ケシムルコトト  
致スヲ適當ト認メタノデアリマス、唯金融  
機關等ガ政府ノ適當ト認ムル方法ニ依リ、  
本法ノ目的ニ從ヒ自治的ニ其資金ノ運用ヲ

許可ヲ受ケシムル必要モナイノデアリマシ  
テ、右ノ許可制度ヲ適用セザルコトト致シ  
テノデアリマス、而シテ實際上ハ主トシテ  
輸入致シマスルコトハ、適當デナインデア  
リマスルカラ、若シ別ニ方策ヲ講ジナイデ  
置キマスルナラバ、此際最モ必要ナル軍需  
關係竝ニ時局ニ緊切ナル生產事業關係ノ資  
材ニ、不足ヲ來ス處ナシトシナインデアリ  
マス、故ニ此際ト致シマシテハ、資材ガ當  
面不必要ナル方面ニ使用セラル、コトヲ抑  
止致シマスルト共ニ、必要ナル方面ニハ之  
ヲ圓滑且ツ潤澤ニ供給スルノ方策ヲ講ズル  
コトガ、極メテ肝要デアルト信ズルノデア  
リマス、齎ツテ資金ノ方面ヨリ見マシテ  
モ、時局ノ爲メ必要ナル物資ノ生產ニ對シ  
リマス、資金ノ供給ヲ潤澤ナラシムルノ要ア  
ルハ勿論、他面巨額ノ公債ヲ消化シテ參リ  
マスル上ニ於キマシテモ、此際新規ノ投資  
ヲ適當ニ調整シ、資金ガ國防其他時局ニ緊  
切ナル用途ニ向ケラレマスルヤウニ致シマ  
スルコトガ、極メテ肝要ナノデアリマス、  
此意味ニ於キマシテ、政府ハ金融機關等ガ  
事業設備ニ關シ資金ノ貸付ヲ爲シ、又ハ社  
債其他ノ有價證券ノ引受等ヲ行ヒマスル場  
合ニ、政府ノ許可ヲ受ケシムルコトトシ、  
又一定額以上ノ資本ノ會社ノ設立、增资等  
ニ付テモ、政府ノ認可ヲ受ケシムルコトト  
致スヲ適當ト認メタノデアリマス、唯金融  
機關等ガ政府ノ適當ト認ムル方法ニ依リ、  
本法ノ目的ニ從ヒ自治的ニ其資金ノ運用ヲ



モナイノデアリマシテ、殊ニ軍需及び國防用トシテ、或ハ又時局ニ緊要適切ナル色々ナ事業用ト致シマシテ、相當巨額ノ物資ノ需要ガアルノデアリマスカラ、是等ノ物資ヲ潤澤且ツ圓滑ニ供給スルコトニ努メナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ我國資源ノ現狀カラ申シマスト、差當ッテ外國カラ輸入致シマシテ、急ノ間ニ合セナケレバナラナイ物ガ少クナインオデアリマス、ソコデ國際收支ノ關係カラ致シマシテ、或ハ物資ノ輸出制限ヲ致シマシタリ、或ハ比較的不急不要ナル物資ハ勿論ノコト、國家産業上有用ナル物ニ付キマシテモ、尙ホ幾許カノ數量ノ輸入ヲ抑制シマシテ、以テ必要物資ノ輸入ノ増大ニ努メナケレバナラナイ必要ガアルノデアリマス、是ガ即チ本法案ニ於キマシテ、政府ハ必要ニ應ジテ輸出又ハ輸入ノ禁止制限ヲ爲シ得ルコトヲ規定致シマシタ理由デアリマス、而シテ斯ク物資ノ輸入ヲ抑制致シマスル結果、之ヲ其儘自然ニ放任致シテ置キマスル時ハ、價格ノ暴騰、供給ノ不安定ナドヲ來シマシテ、國民經濟ノ運行ニ著シイ支障ヲ及ボス虞ガアリマスガ故ニ、本法案ハ又需給關係ノ調整ヲ必要トル物品ニ付キマシテ、政府ハ必要トスルノデアリマスガ、是ガ運用ノ如何本法案ハ大體只今申上ゲマシタ二點ヲ骨子トスルノデアリマスガ、是ガ運用ノ如何

ハ、國內產業ニ最モ重大ナル關係ヲ及ボスノデアリマスカラ、其施行ニ當リマシテ、我國產業貿易ノ實際ノ事情ニ即シタルハ、出來得ル限り關係業者ノ協力ヲ得マシテ、我國產業貿易ノ實際ノ事情ニ即シタル措置ニ出デマシテ、聊モ遺憾ナイコトヲ期シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス。尙ホ本法案ハ申ス迄モナク今次事變ニ對スル臨時ノ立法デアリマシテ、事變が終了致シマスレバ速ニ之ヲ廢止スルコトト致シマシタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ御願致シマス（拍手）。

○議長（小山松壽君） 永井遞信大臣

（國務大臣永井柳太郎君登壇）

○國務大臣（永井柳太郎君） 只今議題トナリマシタ臨時船舶管理法案提案ノ理由ヲ簡單ニ説明申上げタイト存ジマス。海運事業ハ經濟上ニ於キマシテモ、國防上ニ於キマシテモ極メテ重要ナル使命ヲ有シ、殊ニ戰時又ハ事變ニ際シマシテ其重要性ガ愈、增加セラレマスコトハ、申上ゲル迄モナイノデアリマス、去ル七月支那事變勃發シ、其後漸次時局ノ擴大スルニ伴ヒマシテ、本邦船舶ニシテ軍事上ノ目的ニ微備ニ應ジテ適當ナル措置ヲ爲シ得ルコトト致シタノデアリマス。本法案ハ又需給關係ノ調整ヲ必要トル物品ニ付キマシテ、政府ハ必要トスルノデアリマスガ、是ガ運用ノ如何ニ相當ノ動搖ヲ招來スペキコトヲ豫想セラレタルモノ多ク、從來船腹ノ不足ヲ感じタル我國ノ海運界ハ、是ガ爲ニ一層ノ壓迫ヲ受クルコトナリマシタ結果、之ヲ其

ノ自制ヲ促シマシテ能フ限り配船ノ合理化措置ニ出デマシテ、聊モ遺憾ナイコトヲ期シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス。尙ホ本法案ハ申ス迄モナク今次事變ニ對スル臨時ノ立法デアリマシテ、事變が終了致シマスレバ速ニ之ヲ廢止スルコトト致シマシタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ御願致シマス（拍手）。  
○櫻内幸雄君 普クモ 聖上陛下ニ於カセスル質疑ヲ許可致シマス——櫻内幸雄君（櫻内幸雄君登壇）  
ル、ニ至リマシタノデ、政府ハ取敢ヘズ應急措置トシテ近海船腹ノ需給ヲ調節スル爲メ、外國船及ビ關東州置籍船ノ本邦沿岸貿易ヲ特許スルコト致シマスト共ニ、業界ノ自制ヲ促シマシテ能フ限り配船ノ合理化措置ニ出デマシテ、聊モ遺憾ナイコトヲ期シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス。尙ホ本法案ハ申ス迄モナク今次事變ニ對スル臨時ノ立法デアリマシテ、事變が終了致シマスレバ速ニ之ヲ廢止スルコトト致シマシタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ御願致シマス（拍手）。  
○議長（小山松壽君） 永井遞信大臣  
（國務大臣永井柳太郎君登壇）  
○國務大臣（永井柳太郎君） 只今議題トナリマシタ臨時船舶管理法案提案ノ理由ヲ簡單ニ説明申上げタイト存ジマス。海運事業ハ經濟上ニ於キマシテモ、國防上ニ於キマシテモ極メテ重要ナル使命ヲ有シ、殊ニ戰時又ハ事變ニ際シマシテ其重要性ガ愈、增加セラレマスコトハ、申上ゲル迄モナイノデアリマス、去ル七月支那事變勃發シ、其後漸次時局ノ擴大スルニ伴ヒマシテ、本邦船舶ニシテ軍事上ノ目的ニ微備ニ應ジテ適當ナル措置ヲ爲シ得ルコトト致シタノデアリマス（拍手）。唯其目的貫徹上國民ノ聽聞ヲ加ヘ、重要物資ノ輸送、物價ノ調整、對外航權ノ維持等、非常時局ニ際シ國家ノ必要トスル方向ニ向ツテ適正ニ之ヲ運行セシムル爲メ、茲ニ本案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、尤モ本案ノ實施ニ當リマシテ、緩急其宜シキヲ得テ運用ノ全キヲ期スベキハ當然ノコトデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ此點ハ特ニ配意致シテ居ル所デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊アラシコトヲ希望致ス次第デゴザイマス（拍手）。  
○議長（小山松壽君） 是ヨリ通告順ニ依リ國務大臣ノ演説ニ對スル質疑竝ニ各案ニ對スル質疑ヲ許可致シマス——櫻内幸雄君（櫻内幸雄君登壇）  
○櫻内幸雄君 普クモ 聖上陛下ニ於カセスル質疑ヲ許可致シマス——櫻内幸雄君（櫻内幸雄君登壇）  
國務大臣ハ只今帝國ノ支那ニ對スル近衛總理大臣ハ只今帝國ノ支那ニ對スル方針ニ付キ演説ヲセラレ、不擴大現地解決ノ方針ヲ拋棄スルノ已ムナキニ至ッタ經緯ト、之ニ對スル所ノ態度ヲ述ベラレタノデアリマス、其趣旨ハ全然同感デアリマシテ、吾々ハ舉國一致政府ノ方針ヲ支持シ、萬難ヲ排シ其根本的解決ニ邁進スベキデアルノデアリマス（拍手）。唯其目的貫徹上國民ノ聽聞ヲ加ヘ、重要物資ノ輸送、物價ノ調整、對外航權ノ維持等、非常時局ニ際シ國家ノ必要トスル方向ニ向ツテ適正ニ之ヲ運行セシムル爲メ、茲ニ本案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、尤モ本案ノ實施ニ當リマシテ、緩急其宜シキヲ得テ運用ノ全キヲ期スベキハ當然ノコトデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ此點ハ特ニ配意致シテ居ル所デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊アラシコトヲ希望致ス次第デゴザイマス（拍手）。  
○議長（小山松壽君） 是ヨリ通告順ニ依リ國務大臣ノ演説ニ對スル質疑竝ニ各案ニ對スル質疑ヲ許可致シマス——櫻内幸雄君（櫻内幸雄君登壇）  
○櫻内幸雄君 普クモ 聖上陛下ニ於カセスル質疑ヲ許可致シマス——櫻内幸雄君（櫻内幸雄君登壇）  
國務大臣ハ只今帝國ト中華民國トノ提携協力ニ依リ東亞ノ安定ヲ確保シ以テ共榮ノ實ヲ擧クルハ是



ニ、適當ナル時機ニ將來ノ財政計畫ヲ立テ、各般ノ對策ヲ定メ、之ニ依ツテ國民ヲ指導スベキデアルト信ズル者デアリマス、即チ軍事費ニ付テハ今後公債ノミニ依ツテ支辨セントスルノデアルカ、或ハ其一部ヲ増稅其他ノ恒久財源ニ俟タントスルノデアルカ、或ハ又軍事費ハ公債ニ依リ其利子、若クハ利子及ビ減債基金ヲ増稅ニ依ラントスルノデアルカ、其決定ハ自ラ財界指導ノ上ニ其行キ方ヲ異ニシ、財界モ亦之ニ依ツテ將來ノ計畫ヲ定ムルノデアルカラ、十分研究ノ上其方針ヲ明ニセラレンコトヲ希望スルノデアリマス(拍手)勿論何レニセヨ、主タル財源ハ公債ニ俟ツコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、政府ハ公債消化ニ付キ如何ナル對策ヲ執ラル、ノデアルカ、聽キタイト思フノデアリマス、政府ガ今回行ハントスル所ノ事業資金調整ニ依リ、事業資金トシテ投ゼラル、資金ノ或ル部分ヲ公債ニ振向ケ、或ヘ自治的金融統制ヲ強化シテ、銀行預金竝ニ保險會社、信託會社等ノ資金ヲ出來ルダケ公債化セントスルハ、確ニ公債消化ノ一方法デアリ、又「インフレーション」防止ノ手段ナリト信ズルノデアリマスガ、其統制法ノ實行如何ニ依ツテハ金融界ヲ恐怖セシメ、事業資金ノ涸渴ヲ來シ、經濟界ヲ萎靡不振ニ陥レ、國民生活ヲ脅威スルニ至ルノデアルカラ、其結果ハ事志ト反スル場合ガナイトモ限ラヌノデアリマス、故ニ

其運用ニ付テハ特ニ戒心ノ要アリト思フノデアリマス、私ハ公債ノ消化ニ關シテハ幾多ノ方法ガアリマス中ニ、資金循環ノ促進ヲ忘レテハナラヌト信ズルノデアリマス、元來如何ニ極端ナル統制ヲ行フモ、銀行其他ノ即時應募シ得ル資金ハ、所有現金及ビ日銀ヘノ預金總額ノ中ノ或ル部分ニ過ギナカ、所有ノ公債、株券、不動產ヲ賣却スル外ハ途ガナイノデアリマス、若シ貸付金ノ回収、又ハ所有株券ノ賣却ヲ強要スルガ如キ場合ハ、忽チニシテ財界ノ恐慌ヲ來スコト明カナルコトデアリマス故ニ、是ニ於テノデアリマス(拍手)勿論何レニセヨ、主タル財源ハ公債ニ俟ツコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、政府ハ公債消化ニ付キ如何ナル對策ヲ執ラル、ノデアルカ、聽キタイト思フノデアリマス、政府ガ今回行ハントスル所ノ事業資金調整ニ依リ、事業資金トシテ投ゼラル、資金ノ或ル部分ヲ公債ニ振向ケ、或ヘ自治的金融統制ヲ強化シテ、銀行預金竝ニ保險會社、信託會社等ノ資金ヲ出來ルダケ公債化セントスルハ、確ニ公債消化ノ一方法デアリ、又「インフレーション」防止ノ手段ナリト信ズルノデアリマスガ、其統制法ノ實行如何ニ依ツテハ金融界ヲ恐怖セシメ、事業資金ノ涸渴ヲ來シ、經濟界ヲ萎靡不振ニ陥レ、國民生活ヲ脅威スルニ至ルノデアルカラ、其結果ハ事志ト反スル場合ガナイトモ限ラヌノデアリマス、故ニ

其運用ニ付テハ特ニ戒心ノ要アリト思フノデアリマス、私ハ公債ノ消化ニ關シテハ幾多ノ方法ガアリマス中ニ、資金循環ノ促進ヲ忘レテハナラヌト信ズルノデアリマス、元來如何ニ極端ナル統制ヲ行フモ、銀行其他ノ即時應募シ得ル資金ハ、所有現金及ビ日銀ヘノ預金總額ノ中ノ或ル部分ニ過ギナカ、所有ノ公債、株券、不動產ヲ賣却スル外ハ途ガナイノデアリマス、若シ貸付金ノ回収、又ハ所有株券ノ賣却ヲ強要スルガ如キ場合ハ、忽チニシテ財界ノ恐慌ヲ來スコト明カナルコトデアリマス故ニ、是ニ於テノデアリマス(拍手)勿論何レニセヨ、主タル財源ハ公債ニ俟ツコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、政府ハ公債消化ニ付キ如何ナル對策ヲ執ラル、ノデアルカ、聽キタイト思フノデアリマス、政府ガ今回行ハントスル所ノ事業資金調整ニ依リ、事業資金トシテ投ゼラル、資金ノ或ル部分ヲ公債ニ振向ケ、或ヘ自治的金融統制ヲ強化シテ、銀行預金竝ニ保險會社、信託會社等ノ資金ヲ出來ルダケ公債化セントスルハ、確ニ公債消化ノ一方法デアリ、又「インフレーション」防止ノ手段ナリト信ズルノデアリマスガ、其統制法ノ實行如何ニ依ツテハ金融界ヲ恐怖セシメ、事業資金ノ涸渴ヲ來シ、經濟界ヲ萎靡不振ニ陥レ、國民生活ヲ脅威スルニ至ルノデアルカラ、其結果ハ事志ト反スル場合ガナイトモ限ラヌノデアリマス、故ニ

其運用ニ付テハ特ニ戒心ノ要アリト思フノデアリマス、私ハ公債ノ消化ニ關シテハ幾多ノ方法ガアリマス中ニ、資金循環ノ促進ヲ忘レテハナラヌト信ズルノデアリマス、元來如何ニ極端ナル統制ヲ行フモ、銀行其他ノ即時應募シ得ル資金ハ、所有現金及ビ日銀ヘノ預金總額ノ中ノ或ル部分ニ過ギナカ、所有ノ公債、株券、不動產ヲ賣却スル外ハ途ガナイノデアリマス、若シ貸付金ノ回収、又ハ所有株券ノ賣却ヲ強要スルガ如キ場合ハ、忽チニシテ財界ノ恐慌ヲ來スコト明カナルコトデアリマス故ニ、是ニ於テノデアリマス(拍手)勿論何レニセヨ、主タル財源ハ公債ニ俟ツコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、政府ハ公債消化ニ付キ如何ナル對策ヲ執ラル、ノデアルカ、聽キタイト思フノデアリマス、政府ガ今回行ハントスル所ノ事業資金調整ニ依リ、事業資金トシテ投ゼラル、資金ノ或ル部分ヲ公債ニ振向ケ、或ヘ自治的金融統制ヲ強化シテ、銀行預金竝ニ保險會社、信託會社等ノ資金ヲ出來ルダケ公債化セントスルハ、確ニ公債消化ノ一方法デアリ、又「インフレーション」防止ノ手段ナリト信ズルノデアリマスガ、其統制法ノ實行如何ニ依ツテハ金融界ヲ恐怖セシメ、事業資金ノ涸渴ヲ來シ、經濟界ヲ萎靡不振ニ陥レ、國民生活ヲ脅威スルニ至ルノデアルカラ、其結果ハ事志ト反スル場合ガナイトモ限ラヌノデアリマス、故ニ

ニ注意ヲ拂ヒ、企業ノ如キモ緩急ヲ圖リ、  
公債應募ニ大ナル支障ヲ來ス虞ナキ程度ニ  
之ヲ認ムベキデアルト思フノデアリマス、  
同時ニ銀行ヲシテ理由ナキ警戒ヲ事トセシ  
ムルガ如キコトハ、是ハ取締ルベキ事ト思  
フノデアリマス、政府ハ此點ニ付キ如何ナ  
ル見解ヲ有セラレルノデアルカ、明瞭ニシ  
テ置キタインデアリマス(拍手)

貿易ノ逆調ヲ調整スル問題ハ、戰時體制  
トシテハ輸出入ノ管理、特ニ輸入ノ統制ト  
貿易外國際收入ノ改善ニ依リマシテ、國際  
收支ノ均衡ヲ圖リ、爲替ヲ安定シ、一面輸  
出ヲ徹底的ニ、獎勵セネバナラヌコトハ勿  
論デアリマス、政府ガ今回提案セラレタル  
管理案モ其一案デアリマスケレドモ、而モ  
時局ノ擴大ニ伴フ輸入增加、工場設備擴張  
ニ伴フ輸入ノ増大、是等ヲ考ヘマス時ニ、  
幾多深甚ノ考慮ヲ拂フベキ點ガアリマスト共  
ニ、爲替維持ノ點ニ付キマシテ、幾多研究ス  
ベキ問題ガアルノデアリマスガ、是ガ對策ハ  
單ニ政府ノ力ノミヲ以て能ク調和スルコトハ  
出來マセヌ、又統制ノミニ依ツテ效果ヲ擧  
ゲ得ルモノデアリマセヌ、眞ニ民間トノ  
(拍手)民間トノ協力ヲ求ムルニハ、之ニ適  
合スル所ノ機関ガ必要デアリマス、政府ハ  
此點ニ關シ何等力考慮セラレル所ガアック  
ノデアリマスカ、伺ヒタインデアリマス  
更ニ此際一言致シタインハ、我ガ忠勇義

烈ナル皇軍ノ武勇ハ必ズ膺懲ノ目的ヲ達ス  
ルコトハ言ヲ俟タヌ所デアリマスケレド  
モ、眞ノ舉國一致ノ力ニ依リ、一日モ速ニ  
所期ノ目的ヲ達シ、平和ヲ招來セネバナリ  
マセヌ、ソレニハ國民總動員ノ體系ヲ整  
へ、軍事費ノ支辨、軍需品ノ供給ニ支障ナ  
カラシムルト共ニ、國民生活ノ安定、特ニ  
出征將士ノ後顧ノ憂ヲナカラシムル方法等  
ニ付キ、手落ナキヲ期サナケレバナラナイ  
ノデアリマス(拍手)更ニ特ニ政府ノ注意ヲ  
喚起シテ置キタイト思ヒマスノハ、今日國  
民ノ烈々タル舉國一致國難ニ殉ズル所ノ意  
氣ハ燃ユルガ如キモノガアリマシテ、國民  
ハ今日ノ戰時狀態ガ如何ニ長期ニ瓦リマシ  
テモ、飽マデ支那ヲ膺懲シ、東洋ノ平和ヲ  
確保スル堅キ決意ヲ有シテ居ルノデアリマ  
ス(拍手)要ハ此舉國一致ノ人心ヲ如何ニ指  
導シテ、國家ノ爲メ十二分ノ成果ヲ收メ得  
ルカガ、爲政者ノ心スベキ重大ナル責任デ  
アルト考ヘルノデアリマス、軍事上ニ於テ  
精神ノ力ガ絶大ノ力ヲ有スルハ申ス迄モナ  
イ所デアリマス、是ト同様政治、財政、經  
濟ノ點ニ付テモ、最モ此精神的作用ガ重大  
ナル影響ヲ有スルモノデアリマス、若シ其  
ナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第アリマ  
ス、是等ノ方法ニ付キマシテハ、政府ト致  
ジテ心配ヲ要シナインデアリマス(拍手)是  
等ノ點ニ付キ政府ハ其指導ヲ慾ラズ十分ナ

ル成果ヲ舉ゲンコトヲ希望スルト共ニ、吾  
モ亦全力ヲ舉ゲテ之ヲ支援致シタイト考  
ヘテ居ルノデアリマス(拍手)政府ハ國民ノ  
期待ニ副ヒ萬遺憾ナキ方策ヲ籌ラシ、皇軍  
ノ威力ノ相俟ツテ有終ノ成果ヲ收メラル、  
ヲ信ジテ疑ハナイノデアルガ、此際軍部、  
政黨、財界其他各方面ノ間ヲ更ニ一層緊密ニ  
シ、全國民ノ衆智衆力ヲ總動員シ、之ヲ活  
用シ、水モ漏ラサザル所ノ結束力ニ依ッテ、  
今後如何ナル難局ニ遭遇スルモノ、毫モ微動  
ダモセザルヤウ力ヲ致サレンコトヲ希望シ  
テ私ノ質疑ヲ終る者デアリマス(拍手)

(國務大臣公爵近衛文麿君登壇)

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 櫻内君ニ御  
答ヲ致シマス、今次事變ニ處スル帝國ノ態  
度ヘ、昨日畏クモ御勅語ニ依リマシテ中外  
ニ最モ明白ニ示サレタノデアリマス、又政  
府ト致シマシテモ、從來屢々此點ニ付キマ  
シテ宣明ヲ致シテ居ルノデアリマス、今後  
一層其徹底ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、殊  
ニ外國——歐米諸國ニ於キマシテハ、其國  
民ノ間ニ尙ホ少カラズ帝國ノ眞意ヲ諒解シ  
ナイ者ガアルヤウニ存ジマスルカラ、此方  
面ニ對シマシテハ、今後一層ノ努力ヲ拂ハ  
ナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第アリマ  
ス、是等ノ方法ニ付キマシテハ、政府ト致  
ジテ心配ヲ要シナインデアリマス(拍手)是  
等ノ點ニ付キ政府ハ其指導ヲ慾ラズ十分ナ

ル成果ヲ舉ゲンコトヲ希望スルト共ニ、吾  
モ亦全力ヲ舉ゲテ之ヲ支援致シタイト考  
ヘテ居ルノデアリマス(拍手)政府ハ國民ノ  
期待ニ副ヒ萬遺憾ナキ方策ヲ籌ラシ、皇軍  
ノ威力ノ相俟ツテ有終ノ成果ヲ收メラル、  
ヲ信ジテ疑ハナイノデアルガ、此際軍部、  
政黨、財界其他各方面ノ間ヲ更ニ一層緊密ニ  
シ、全國民ノ衆智衆力ヲ總動員シ、之ヲ活  
用シ、水モ漏ラサザル所ノ結束力ニ依ッテ、  
今後如何ナル難局ニ遭遇スルモノ、毫モ微動  
ダモセザルヤウ力ヲ致サレンコトヲ希望シ  
テ私ノ質疑ヲ終る者デアリマス(拍手)

御答ヲ申上ゲマス(拍手)

(國務大臣賀屋興宣君登壇)

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御質問ニ  
對シテ御答申上ゲマス、事件ノ發展如何ニ  
依リマシテハ、今後ノ戰費ガ如何ニ増大ス  
ルモ國民ハ之ヲ支援シ、議會ハ協贊ヲセラ  
ル、ノ御用意ガアルト云フコトヲ承リマシ  
テ、洵ニ心強ク感ズル次第アリマス(拍  
手)政府ニ於キマシテモ如何ナル事件ノ擴  
大ガアリマセウトモ、之ニ對應致シマスル  
十分ノ覺悟ト準備トヲ有シテ居ル次第ア  
リマス、尙ホ今後戰費ノ財源ニ付キマシ  
テ、如何ナル方策ヲ執ルカト云フ御質問デ  
アリマスルガ、是ハ仰セノ如ク主タル部分  
ヲ公債ニ依ルト云フコトハ固ヨリ已ムヲ得  
ナイ所デアリマス、併ナガラ今後如何ニ之  
ヲ按排シテ參リマスルカト言ヒマスルコト  
アリマス、尙ホ此後如何ナル事件ノ情勢如  
何ニ依ルコトデアリマシテ、只今ハ如何  
ナル按排ヲ致シマスルカト云フコトハ  
ハ、今後ノ戰費ノ金額並ニ經濟界ノ情勢如  
何ニ依ルコトデアリマシテ、只今ハ如何  
ナル按排ヲ致シマスルカト云フコトハ  
未ダ申上ゲルニ適當ナ時期デナイト存ズル  
ノデアリマス、尙ホ此公債消化ニ關シマシ  
テ、又金融ノ疏通、資金ノ回轉ノ速度等ニ  
關シマシテノ御質問デアリマスルガ、大體  
御質問ノ趣旨ハ結構ト拜聽致シテ居ル次第  
デアリマス、政府ニ於キマシテ考ヘマスル  
コトハ、公債ノ消化ニ付キマシテハ深甚ノ  
リマスルガ、徒ニ其消化ノ急ナルコトヲ求



ス、最早事此ニ至リマシテハ、假令如何ナル國費ヲ要シマシテモ、我ガ忠誠ナル國民ハ何處マデモ之ニ耐ユルノ覺悟ヲ爲サナクテハナリマセヌ（拍手）勿論政府ニ於カレマシテモ、夙ニソレニ對スル萬般ノ用意ト決心トヲ有セラレテ居ルコトト存ジマス、併シ私共ガ茲ニ考ヘネバナリマセヌノハ、我國經濟界ノ前途デアリマス、近衛首相ガ先刻モ御演説ニナリマシタ如ク、吾々國民ハ所謂堅忍持久、飽マデモ最終ノ目的ヲ達成致サクテハナリマセヌ、隨テ我國經濟界ノ前途ヲシテ益、鞏固ナラシメ、如何ニ持続スルトモ、軍費ノ供給ニ萬遺憾ナキコトヲ期サナクテハナリマセヌ（拍手）ソレデ此見地ニ立チマスト、此場合先以テ我國財政ニ關シマシテ一應ノ檢討ヲ加ヘマスクトハ寧ロ當然ノ順序ナリト考ヘテ居リマス

今度政府ガ御提案ニナリマシタ追加豫算案ヲ拜見致シマスト、其歲出總額ハ二十億餘万圓デアリマス、併シ既ニ前議會ニ於キマシテ五億餘万圓ノ追加豫算ガ議決サレテ居リマスノデ、之ヲ合計致シマスレバ、既ニ二十五億圓ヲ超過致シテ居リマス、尙ホ此上ドレダケノ經費ヲ要スルノカ、ソレニモ亦極メテ重大ナル關係ガ殘サレテ居リマス、而モソレニ對スル歲入ハ、其大部分ガ公債ヲ以テ支辨サレルコトニナッテ居ルノデ、アリマス、勿論今日ノ場合之ヲ公債支辨ト爲スコトハ已ムヲ得ザル處置デアリマス

ノミナラズ、我國ノ經濟的實力ガ決シテ爾ク小ナルモノニアラザルコトハ、今日マデ私共ノ既ニ論ジ來ッタ所デアリマス、所ノ政府ノ消費ニ對シテ、果シテソレニ通貨ノ膨脹ヲ來シテ、物價ヲ昂騰セシムルコトデアリマス、ソレカラ第二ニハ、爲ニヤウナコトハナイカ、即チ所謂惡性「インフレーション」ヲ起スヤウナコトハナイカ、斯ウ云フノデアリマス、然ルニ私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、兎ニ角政府ハ是ダケノモノハ必要デアルトシテ此豫算ヲ要求サレタノデアリマス、隨テ假令如何ナル方法ヲ講ジ、所謂夜ヲ日ニ繼グト致シマシテモ、此豫算ニ應ジ得ルダケノ生產ハ増加サルベキモノダト考ヘナクテハナリマセヌ、果シテ然リトスレバ、ソレニ相應スル通貨ノモ、此豫算ニ應ジ得ルダケノ生產ハ増加サルベキモノダト考ヘナクテハナリマセヌ、コトニナリマセウガ、サスレバ結局外國貿易ハ次第ニ縮小サレマシテ、其結果ハ輸入度ハ更ニ貿易管理ニ依リテ輸入ヲ抑制スルセヌ、サウシテ輸出ハ減リマス、ソコデ今度ハ更ニ貿易管理ニ依リテ輸入ヲ抑制スルコトニナリマセウガ、サスレバ結局外國貿易モ共ニ減退スルコトニナルノデハナリマシテ爲替ヲ維持スレバ、ソレハ格別デミニ依リ難イ場合ガアリマシテ、通貨ノ膨脹程度ト國內生產力ノ發展トノ間ニ、苟モ均衡ヲ失スルヤウナコトガアリマスレバ、ソコニ必ズヤ物價ノ昂騰ヲ來シマス、即チ併ナガラ若シモ政府ノ消費ガ國內生產力ノソシテ然リトスレバ、ソレニ相應スル通貨ノ膨脹ハ決シテ恐ル、ニ足ラヌト思ヒマス、

今度政府ガ御提案ニナリマシタ追加豫算案ヲ拜見致シマスト、其歲出總額ハ二十億餘万圓デアリマス、併シ既ニ前議會ニ於キマシテ五億餘万圓ノ追加豫算ガ議決サレテ居リマスノデ、之ヲ合計致シマスレバ、既ニ二十五億圓ヲ超過致シテ居リマス、尙ホ此上ドレダケノ經費ヲ要スルノカ、ソレニモ亦極メテ重大ナル關係ガ殘サレテ居リマス、而モソレニ對スル歲入ハ、其大部分ガ公債ヲ以テ支辨サレルコトニナッテ居ルノデ、アリマス、勿論今日ノ場合之ヲ公債支辨ト考ヘマス

ソコデ國內物價ガ昂騰致シマスレバドウナルカト言ヘバ、申ス迄モナク爲替相場ガ下落スルカ、然ラザレバ輸出が減退スル、斯ウナルノガ當然ノ結果デアルト思ヒマス、爲替ガ下レバ輸出貿易ノ爲ニハ寧ロ好都合デハナイカト考ヘラレマスガ、ソレハスペキ疑問ヲ持ッテ居ルヤウニ考ヘラレマス、即チ其第一ハ、此急激ニ増大スル所ノ政府ノ消費ニ對シテ、果シテソレニ通貨ノ膨脹ヲ來シテ、物價ヲ昂騰セシムルコトデアリマス、ソレカラ第二ニハ、爲ニヤウナコトハナイカ、即チ所謂惡性「インフレーション」ヲ起スヤウナコトハナイカ、斯ウ云フノデアリマス、然ルニ私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、兎ニ角政府ハ是ダケノモノハ必要デアルトシテ此豫算ヲ要求サレタノデアリマス、隨テ假令如何ナル方法ヲ講ジ、所謂夜ヲ日ニ繼グト致シマシテモ、此豫算ニ應ジ得ルダケノ生產ハ増加サルベキモノダト考ヘナクテハナリマセヌ、コトニナリマセウガ、サスレバ結局外國貿易ハ次第ニ縮小サレマシテ、其結果ハ輸入度ハ更ニ貿易管理ニ依リテ輸入ヲ抑制スルセヌ、サウシテ輸出ハ減リマス、ソコデ今度ハ更ニ貿易管理ニ依リテ輸入ヲ抑制スルコトニナリマセウガ、サスレバ結局外國貿易モ共ニ減退スルコトニナルノデハナリマシテ爲替ヲ維持スレバ、ソレハ格別デミニ依リ難イ場合ガアリマシテ、通貨ノ膨脹程度ト國內生產力ノ發展トノ間ニ、苟モ均衡ヲ失スルヤウナコトガアリマスレバ、ソコニ必ズヤ物價ノ昂騰ヲ來シマス、即チ併ナガラ若シモ政府ノ消費ガ國內生產力ノソシテ然リトスレバ、ソレニ相應スル通貨ノ膨脹ハ決シテ恐ル、ニ足ラヌト思ヒマス、

ソコデ國內物價ガ昂騰致シマスレバドウ

リテ物價ノ騰勢ヲ抑制スルコトヘ到底困難デアルコトヲ思ハナクテハナリマセヌ、然テ參リマス、スルト御承知ノ通リソレニハ所謂統制論モアリマスガ、又増税論モアリマス、勿論需給ノ調節ヲ圖ル爲ニハ統制ヲ必要トスルモノガアリマス、又通貨ノ膨脹ヲ根本的ニ調整スル爲ニハ増税論ハ確ニ首肯致サレマス、併シ此急激ニシテ大イナル通貨ノ膨脹ヲ抑制スル爲ノ増税ト致シマシテハ、一億圓ヤニ億圓デハ殆ド其效果ハアリマセヌ(拍手)サウ考ヘマスト、ソコニハ先以テ増税ニ應ゼラルベキ國民的經濟力ノ確實性ガ大切デハナイカト考ヘルノデアリマス(拍手)殊ニ増税ニ次グ増税ヲ以テスルノハ、偶以テ國民ノ不安ヲ招來スルコトニナリマス、隨テ茲ニ増税シヨウト云フノデアリマスナラバ、今度ハ是デモウ大丈夫ダト云フ安心ヲ國民ニ與ヘテ掛ルコトガ必要デアリマス、隨實ヲ言フト國民ハ最早増税ノ止ムナキコトヲ覺悟シテ居ルト思ヒマス、唯惧ル、所ハ其歸著點ガ果シテ何處ニアルノカ、而モ其極メテ不確實ナル所ニ疑惑ノ念ヲ生ズルモノト考ヘマス、サウ考ヘマスト私ヘ此國家非常ノ秋ニ當リマシテヘ、須ク先ツ非常時ノ方策ガナクテハナラナイト思ヒマス、唯物事ヲ消極的ニノミ考ヘテ、抑制抑止スルコトニノミ沒頭致シマシタノデヘ、人心ハ次

殊ニ考ヘネバナリマセヌノハ、今日ノ場合假令國內ニ於ケル生産力ガ增加サル、トス、勿論需給ノ調節ヲ圖ル爲ニハ統制ヲ必要トスルモノガアリマス、又通貨ノ膨脹ヲ根本的ニ調整スル爲ニハ増税論ハ確ニ首肯致サレマス、併シ此急激ニシテ大イナル通貨ノ膨脹ヲ抑制スル爲ノ増税ト致シマシテハ、一億圓ヤニ億圓デハ殆ド其效果ハアリマセヌ(拍手)サウ考ヘマスト、ソコニハ先以テ増税ニ應ゼラルベキ國民的經濟力ノ確實性ガ大切デハナイカト考ヘルノデアリマス(拍手)殊ニ増税ニ次グ増税ヲ以テスルノハ、偶以テ國民ノ不安ヲ招來スルコトニナリマス、隨テ茲ニ増税シヨウト云フノデアリマスナラバ、今度ハ是デモウ大丈夫ダト云フ安心ヲ國民ニ與ヘテ掛ルコトガ必要デアリマスナラバ、今度ハ是デモウ大丈夫ダト云フ安心ヲ國民ニ與ヘテ掛ルコトガ必要デアリマス、隨實ヲ言フト國民ハ最早増税ノ止ムナキコトヲ覺悟シテ居ルト思ヒマス、唯惧ル、所ハ其歸著點ガ果シテ何處ニアルノカ、而モ其極メテ不確實ナル所ニ疑惑ノ念ヲ生ズルモノト考ヘマス、サウ考ヘマスト私ヘ此國家非常ノ秋ニ當リマシテヘ、須ク先ツ非常時ノ方策ガナクテハナラナイト思ヒマス、唯物事ヲ消極的ニノミ考ヘテ、抑制抑止スルコトニノミ沒頭致シマシタノデヘ、人心ハ次

半數ニ近キ人口ヲ有スルノヘ農村デアリマス、其一戸々々ハ小サイヤウデアリマシテル生産力ガ增加サレルノデアリマス、勿論其結果ニ於キマシテハ廻リ廻ツテ同ジコトニハナリマス、併シ實ハ一時的現象トシテハ、所謂一般生産トノ間ニ摩擦ノ起ルコトハ當然ノ結果デアルト考ヘマス、即チ政府消費ニ對シマシテハ、今日尙ホ生産能力ニ不足ヲ感ズルニモ拘ラズ、一面ニ於テハ民間消費ノ減退スル結果、ソレニ對スル生産力ニハ寧ロ過剩ヲ生ズル場合ナシトセヌノデアリマス(拍手)是等ノ産業ニ對シマシテハ、政府ハ寧ロソレニ對スル消費ヲ刺戟スル必要アリト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)ソレガ麤テ我國ニ於ケル資本循環ノ一轉機トモナルベキモノデアリマス、ソレノミナラズ我國ニハマダ閑却サレテ居ル事業ガ少カラズアリマス、方法サヘ宜シキヲ得マスレバ必シモ大資本ヤ大工業ヲ要セズ、所謂小工業又ハ家庭工業トシテ發達サルベキモノガ決シテ少クアリマセヌ、由來我國ハ申ス迄モナク世界ニ獨特ノ社會組織ヲ有シ、殊ニ農村ニ至リマシテハ殆ド他ニ類例ノ少キ組織デアリマス、之ニ處スルノ途ハ又自ラ世界獨特ノモノガナケレバナラヌト考ヘマス、今日ノ如キ場合ニ當リマシテハ、殊ニ農村ニ對スル經營ハ一層深甚ノ注意ヲ拂ヒ、

半數ニ近キ人口ヲ有スルノヘ農村デアリマス、其一戸々々ハ小サイヤウデアリマシテ申シマシテモ此場合ヘ益、國本ヲ培養スルコトガ必要デアリマス、貯蓄モ固ヨリ必要ス、隨テ時局ヲ解決スベキ財源ヘ、貯蓄ヨリモ寧ロ生産ニアルコトヲ知ラネバナラヌト考ヘマス(拍手)サウ考ヘマスト、此場合最モ大切ナノハ、殊ニ國民ヲシテ安シジテ其業ニ就カシムルコトデアリマス、只今モ政府提出ノ諸案ニ付キマシテ各大臣ヨリ御説明ガアリマシタガ、必要ナ統制ヘ前ニモ申シマスル如ク爲サバナリマセヌ、サリトモナルベキモノデアリマス、ソレノミナラズ我國ニハマダ閑却サレテ居ル事業ガ少カラズアリマス、方法サヘ宜シキヲ得マスレバ必シモ大資本ヤ大工業ヲ要セズ、所謂小工業又ハ家庭工業トシテ發達サルベキモノガ決シテ少クアリマセヌ、由來我國ハ申ス迄モナク世界ニ獨特ノ社會組織ヲ有シ、殊ニ農村ニ至リマシテハ殆ド他ニ類例ノ少キ組織デアリマス、之ニ處スルノ途ハ又自ラ世界獨特ノモノガナケレバナラヌト考ヘマス、今日ノ如キ場合ニ當リマシテハ、殊ニ農村ニ對スル經營ハ一層深甚ノ注意ヲ拂ヒ、

更ニ申述ベタイノハ外ニ向ツテ進ムベキ方策デアリマス、國內ノ事モ固ヨリ大切デアリマスガ、併シ經濟的ニモ外ニ向ツテ益、進ムベキ途ガナイ譯ハアリマセヌ、殊ニ此國家非常ノ時ニ當リマシテハ、外ニ向ヒマシテモ亦自ラ執ルベキ方策ガナクテハナラヌト思ヒマス、私ハ最早多クヲ申シマセヌガ、併シ申ス迄モナク正義ハ最後ノ勝利者デアリマス、ソコニハ深キ信念ト勇猛心トヲ以テ進マル、コトガ必要デアルト考ヘマス

次ニ公債ノ募集方法ニ付キマシテ申述ベマスガ、過日來一億圓ノ公債ヲ發行サレルニ付キマシテ、有力銀行ノ「シンジケート」ヲ組織セシメ、又ハ信託會社ナドノ當事者ニ對シテ應募方ヲ申入レラレタ、ノミナラズ小額愛國公債ノ必要ヲモ發表サレマシタ爲ニ、銀行業者ノ間ニハ、此上何時何程ノ公債ニ應募ヲ申込マル、ヤモ圖ラレヌト云フノデ、頗ル不安ノ状態ヲ惹起シ、爲ニ金融梗塞ノ原因ヲ成シテ居ルト承ツテ居リマスガ、ソレハ餘リニ話ガ小サ過ギマス(拍手)マサカ右様ノ事實ハ政府ニハアルマイト存ジマコトガ、正ニ經濟界ヲシテ安固ナラシムル第一ノ要件デアルト考ヘマス(拍手)所謂理外ノ理モ亦茲ニアルト存ジマス、固ヨリ此重大時局ニ當リマシテ、國民ハ尙ホ幾多重大ノ理モ亦茲ニアルト存ジマス、固ヨリ此重

徒ニ犠牲ヲ拂ハシムルコトガアツテハナリ考ヘマス

最後ニ一言致シタイノへ從軍者家族ノ救護ニ關スル事デアリマス、例ヘバ官吏、會社員其他俸給ニ依シテ居ラレタ諸君ニハ、幸ニ出征申ト雖モ其俸給ハ從前通り支給サレルコトニナフテ居ルヤニ承リマス、洵ニ結構ナコト存ジマス、併シ其會社ニソレダケノ力ノ無イモノガ世間ニヘアリマス、ソレノミナラズ農山漁村並ニ中小商工業者ナドカラ出征セラレル諸君ニ對シマシテハ、殆ド其途モアリマセス、其地方々々ニ依リマシテ適當ナ救護方法モ出來テヘ居リマスガ、中ニヘ頗ル氣ノ毒ナ事情ニアル者ガ決シテ少クアリマセス、商業上ノ手形ナドヲ銀行カラ嚴シク督促サレマシテ困シテ居ラレル家サレ得ル迄ニ至ラヌ人デ、而モ推察スペキ情狀ノ人々ニモ何トカシテ適當ノ救護ノ方法ヲ全カラシメタク考ヘマス（拍手）勿論斯是ハ餘程慎重ナ研究ヲ要スルコトデアリシテ、地方團體等トモ適當ニ連絡サレル必要ガアリマス、併シ何ト申シマシテモ所謂銃後ノ務ハ出征者ヲシテ後顧ノ憂ナカラシニ於キマシテヘ篤ト此邊ノ事ヲ考慮致サレマシテ、十分ノ御盡力アランコトヲ希望スル次第デアリマス

要スルニ此非常時ニ處スルニハ經濟上ニモ亦非常ノ策ガナケレバナラスト思ヒマス、此場合一般產業ノ發展ヲ駆行セシムルコトヲ存ジマス、併シ其會社ニソレダケノ力ノ無イモノガ世間ニヘアリマス、ソレノミナラズ農山漁村並ニ中小商工業者ナドカラ出征セラレル諸君ニ對シマシテハ、殆ド其途モアリマセス、其地方々々ニ依リマシテハ其通リデアラウト思ヒマス、併シ今日迄ニ發達シテ居リマスモノヲ、ミスヽ減退セシムルノミナラズ、故ラニ減退セシムルヤウナコトヲ致シマスルノヘ、洵ニ思ヘザルト爲シ、ソレヲ閑却スルガ如キコトガアレバ結局國本ヘ衰ヘマス、言フ迄モナク我國ニ對スル施設ヲ以テ今日ノ應急策ニアラズト爲シ、ソレヲ閑却スルガ如キコトガアレバ、國本ヘ衰ヘマス、言フ迄モナク我國ハ比較的ニ資源ノ少イ國デアリマス、少イ資源ヲ以テ廣イ世界ニ雄飛致ス爲ニヘ、智慧ト勞力ト工夫トデ戰ハナクテヘナリマセス、ソコニ我國ニハ我國ノ執ルベキ途ガアリマス、現政府ニ於テ此處ガ御分リニナッテ居ラヌ筈ヘナイト私ヘ信ジマス、勿論斯ル時局ニ方リマシテハ所謂最惡ノ場合ヲモ考慮致サネバナリマセス、ソレニ對シテ長々ト私ノ意見ヲ申述ベマスヨリモ、寧ロマシテヘ、大ニ其節約ニ努メナケレバナラナイノデアリマスルガ、原料ヘ國內ニ於テ生産セラレ、國內ニ於テソレガ加工致サレマスヤウナモノニ付キマシテヘ、何モ消極的ノ措置ヲ執ル必要ハ毫モナインデアリマス

政府ノ之ニ對スル御所信ヲ伺ヒタインデアリマス、私ハ以上ノ意見ヲ述べマシテ、之ニ對シマス政府ノ御所信ヲ伺フコトニ致シマス（拍手）  
〔國務大臣賀屋興宣君登壇〕  
○國務大臣（賀屋興宣君）只今ノ御質問ニ對シテ御答申上ゲマス、此非常狀態ニ於テ執ルベキ經濟政策ニ付キマシテ續々御意見ガアリマシタガ、大體御同感ニ存ズル次第

コトヘ到底不可能ナコトダトシテ、稍、困却ニ付キマシテノ御話デアリマシテ、洵ニ是新ニ大資本ヲ要スル工業ナドニ付キマシテハ其通リデアラウト思ヒマス、併シ今日迄ニ發達シテ居リマスモノヲ、ミスヽ減退セシムルノミナラズ、故ラニ減退セシムルヤウナコトヲ致シマスルノヘ、洵ニ思ヘザルト爲シ、ソレヲ閑却スルガ如キコトガアレバ、國本ヘ衰ヘマス、言フ迄モナク我國ニ對スル施設ヲ以テ今日ノ應急策ニアラズト爲シ、ソレヲ閑却スルガ如キコトガアレバ、國本ヘ衰ヘマス、言フ迄モナク我國ハ比較的ニ資源ノ少イ國デアリマス、少イ資源ヲ以テ廣イ世界ニ雄飛致ス爲ニヘ、智慧ト勞力ト工夫トデ戰ハナクテヘナリマセス、ソコニ我國ニハ我國ノ執ルベキ途ガアリマス、現政府ニ於テ此處ガ御分リニナッテ居ラヌ筈ヘナイト私ヘ信ジマス、勿論斯ル時局ニ方リマシテハ所謂最惡ノ場合ヲモ考慮致サネバナリマセス、ソレニ對シテ長々ト私ノ意見ヲ申述ベマスヨリモ、寧ロマシテヘ、大ニ其節約ニ努メナケレバナラナイノデアリマスルガ、原料ヘ國內ニ於テ生産セラレ、國內ニ於テソレガ加工致サレマスヤウナモノニ付キマシテヘ、何モ消極的ノ措置ヲ執ル必要ハ毫モナインデアリマス

増稅ニ付キマシテモ、仰セノ如ク國民ノ經濟力ヲ阻礙シナイト云フコトガ第一デアリマシテ、財政ノ收支ヲ合セマスコトヘ、斯ル際ニ於キマシテヘソレニ拘泥スル必要ハナイノデアリマス、常ニ金融、經濟兩方ノ状況ヲ見マシテ、適當ナル按排ヲ致シテ行キタイト思フノデアリマス

尙ホ最後ニ公債ノ募集ノ方法ニ付キマシ

テ御尋ガアリマシタ、先般——我ガ古キヨ  
リ組織サレテ居リマス國債「シンジケート」  
團ニ加盟致シテ居リマス銀行或ハ信託會社  
ガ、進ンデ一億圓ノ應募ヲ致スト云フコトニ  
致シタコトハ、是ハ事實デアリマス、今後  
多額ノ資金ガ市場ニ散布サレマス場合ニ於  
キマシテ、金融機關ガ斯様ニ自發的ニ色々  
公債消化ニ付テ協力致シマスコトハ、極メ  
テ適當ナル措置デアルノデアリマス、但シ  
仰セニアリマシタ如ク、ソレニ依ツテ金融ノ  
梗塞ヲ生ズルヤウナコトハ、努メテ之ヲ避  
ケナケレバナラナイノデアリマシテ、其一  
億圓ニ付キマシテモ、拂込ノ期日等ニ付キ  
マシテハ意ヲ用ヒマシテ、之ヲ後ニ繰延ベ  
テアルノデアリマスルガ、尙ホ只今ノ如ク  
金融ノ疏通不十分ナル時ニ當リマシテ、先  
刻モ前ノ質問ニ對シテ御答申上ゲマシタル  
ガ如ク、此公債ノ消化ニ急ナルノ餘り、金  
融機關等ニ其公債ノ購入ヲ強ヒマスルコト  
ハ勿論、自發的ニ於テモ餘リニ急激ニ參リ  
マスルコトハ之ヲ避ケタイト思フノデアリ  
マス、サウ致シマシテ資金ノ供給ガ潤澤ト  
相成リ、金融機關ノ資力ガ十分ニ満チマシ  
テ、公債ニデモ向ハナケレバ金ノヤリ場ガ  
ナイト云フ風ニナッテ初メテ保有セシムル  
コトニ努メル、斯様ナ方法デ行キタイノデ  
アリマシテ、只日本銀行ニ於キマシテモ  
金利政策其他ニ於キマシテ、又銀行ノ取引  
先ノ擴張、或ハ擔保物ノ擴張、進ンデ必要  
ナル場合ニハ、金融機關ノ持ツテ居リマス  
ル公債ノ買入等ニ付キマシテモ、十分ノ便

宜ヲ圖ル手段ヲ既ニ講ジテ居リマスルシ、  
政府ニ於キマシテモ今後發行致シマスル公  
債ハ、當分總テ日本銀行ノ引受ト致シマシ  
テ、先ヅ市場ニ資金ヲ散布シテ後ニ、然ル  
ベキ時ニ是ガ吸收ヲ圖ルト云フコトニ致ス  
次第デアリマス（拍手）又提案ヲ致シテ居リ  
マスル臨時資金調整法ニ於キマシテハ、金  
資金特別會計ヲ以テ日本興業銀行債券ヲ應  
募セシムルノ途ヲ開クベク規定致シマシタ  
ノデアリマスルガ、此法律ノ御協賛ヲ受ケ  
マスルナラバ、金資金特別會計ハ、先ヅ興  
業債券ノ既存ノ法律ニ依ル發行限度ノ餘力  
約一億五千万圓デアリマスルガ、之ヲ引受  
ケマシテ、潤澤ナル資金ノ供給ヲ圖ル積リ  
デアリマス、是ハ金資金ニアリマスル資金  
デアリマスルカラ、何等市場カラ資金ヲ吸  
收スルコトナク、ソレガ市場ニ散布サレル  
ト云フコトニナルノデアリマス

愛國公債ノコトデアリマスルガ、是ハ左

様ナ名稱ノモノヲ出シマスル考ハアリマセ  
ヌノデ、先刻モ御説明申上ゲマシタガ、此  
際特ニ收入ノ殖エマスルヤウナ方面モアリ  
マシテ、其中ニハ平素貯蓄ノ習慣ノ行渡ッテ  
居ナイヤウナ方面モアリマスルノデ、斯ル  
層ニ對シテ餘リ資金ノダブ付キマスルコト  
ヲ防グ意味デ、割増金附勸業債券ヲ發行ス  
テアリマス、北支事變勃發ノ際、政府ハ急  
理セラルベキカノ、政機運用ノ根本義ニ付  
キマシテ、聊カ御尋申上ゲタイト存ズルノ  
デアリマス、北支事變勃發ノ際、政府ハ急  
遽舉國一致ノ體様ヲ整備セラル、ト共ニ、  
所謂現地解決、不擴大方針ノ下ニ當面ノ時  
局ニ善處セラレマシタガ、其後ノ情勢ハ先  
刻來當局ヨリ御報告ノ通り、事態益々發展  
シテ底止スル所ナク、軍事行動トシテハ平

津地方ヨリ上海方面ハ勿論、遂ニ相手國ノ  
相、川越大使等ノ御健在ヲ希望シテ居リマ  
相、我ガ外交機關ハ何故ニ事變解決ニ付  
得ナイノデアリマス、若シ這般ノ事態ガ何  
處マデモ一ツノ事變ニ過ギズシテ、國交ハ  
依然繼續ノ狀態ニアルト主張セラル、ナラ  
バ、我ガ外交機關ハ何故ニ事變解決ニ付  
得ナイノデアルカ（拍手）國民ハ廣田外  
相、川越大使等ノ御健在ヲ希望シテ居リマ

（國務大臣馬場鐵一君登壇）

國都南京ニマデモ及ビ、事件費ト致シマシテ  
ハ、特別議會ニ於ケル五億ノ成立豫算ヲ以テ  
シテハ到底之ヲ賄フコト叶ハズ、茲ニ此臨時  
議會ヲ召集セラレテ、二十億有餘ノ巨大ナ  
ル事件費協賛ヲ求メラル、ニ至リマシタ、

斯クテ北支一角ニ起リマンタ事變ハ、今  
遺族ノ扶助其他銃後ノ後援ニ付キマシテ  
ハ、事變以來私共モ日夜苦心致シテ居ル次  
ノ關係團體ニモ十分ノ督勵ト協力ヲ求メテ

今日ヤツテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ  
ノ場合ニ種々事情モ異シテ居リマシテ、之  
ニ對シテ徹底セル扶助ヲ爲スト云フコト  
ハ、只今御論述ノアリマシタ通リ中々ニ困  
難ガアルノデアリマス、併ナガラ政府ト致  
シマシテハ有ユル努力ヲ拂ヒマシテ銃後ノ

後援ノ全キヲ期シタイト考ヘテ居リマス、  
シマシテハ有ユル努力ヲ拂ヒマシテ銃後ノ  
只今ノ御演説モ十分ニ拜承致シマシタ、私  
共ハ今後此方面ニ付テハ篤ト考究ヲ重ネツ  
ツ、銃後ノ後援ノ普及徹底ヲ合理的ニ行フ  
コトヲ實行シタイト考ヘテ居リマス（拍手）

立セム」ト宣ハセラレタ、其御聖旨ニ順應  
シ奉ル御考ニ依ルモノトハ存ジマスルケレ  
ドモ、餘リニモ事態擴大セル今日、果シテ  
尙ホ此儘デ以テ宜シイノデゴザイマセウ  
カ、如何デアルカ、嘗テ閣僚ノ一人廣田外  
相ハ余ノ在職中、即チ廣田外務大臣在職

中戰爭ナント、帝國議會ニ於テ揚言セラ  
レタコトガアリマシタ、夫レ此レノ關係力  
ラ、此名實相副ハナイト見ラル、舉動ヲ  
シ奉ル御考ニ依ルモノトハ存ジマスルケレ  
ドモ、餘リニモ事態擴大セル今日、果シテ  
尙ホ此儘デ以テ宜シイノデゴザイマセウ  
カ、如何デアルカ、嘗テ閣僚ノ一人廣田外  
相ハ余ノ在職中、即チ廣田外務大臣在職

シテハ到底之ヲ賄フコト叶ハズ、茲ニ此臨時  
議會ヲ召集セラレテ、二十億有餘ノ巨大ナ  
ル事件費協賛ヲ求メラル、ニ至リマシタ、  
斯クテ北支一角ニ起リマンタ事變ハ、今  
遺族ノ扶助其他銃後ノ後援ニ付キマシテ  
ハ、事變以來私共モ日夜苦心致シテ居ル次  
ノ關係團體ニモ十分ノ督勵ト協力ヲ求メテ  
今日ヤツテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ  
ノ場合ニ種々事情モ異シテ居リマシテ、之  
ニ對シテ徹底セル扶助ヲ爲スト云フコト  
ハ、只今御論述ノアリマシタ通リ中々ニ困  
難ガアルノデアリマス、併ナガラ政府ト致  
シマシテハ有ユル努力ヲ拂ヒマシテ銃後ノ  
只今ノ御演説モ十分ニ拜承致シマシタ、私  
共ハ今後此方面ニ付テハ篤ト考究ヲ重ネツ  
ツ、銃後ノ後援ノ普及徹底ヲ合理的ニ行フ  
コトヲ實行シタイト考ヘテ居リマス（拍手）

立セム」ト宣ハセラレタ、其御聖旨ニ順應  
シ奉ル御考ニ依ルモノトハ存ジマスルケレ  
ドモ、餘リニモ事態擴大セル今日、果シテ  
尙ホ此儘デ以テ宜シイノデゴザイマセウ  
カ、如何デアルカ、嘗テ閣僚ノ一人廣田外  
相ハ余ノ在職中、即チ廣田外務大臣在職

中戰爭ナント、帝國議會ニ於テ揚言セラ  
レタコトガアリマシタ、夫レ此レノ關係力  
ラ、此名實相副ハナイト見ラル、舉動ヲ  
シ奉ル御考ニ依ルモノトハ存ジマスルケレ  
ドモ、餘リニモ事態擴大セル今日、果シテ  
尙ホ此儘デ以テ宜シイノデゴザイマセウ  
カ、如何デアルカ、嘗テ閣僚ノ一人廣田外  
相ハ余ノ在職中、即チ廣田外務大臣在職

シテハ到底之ヲ賄フコト叶ハズ、茲ニ此臨時  
議會ヲ召集セラレテ、二十億有餘ノ巨大ナ  
ル事件費協賛ヲ求メラル、ニ至リマシタ、  
斯クテ北支一角ニ起リマンタ事變ハ、今  
遺族ノ扶助其他銃後ノ後援ニ付キマシテ  
ハ、事變以來私共モ日夜苦心致シテ居ル次  
ノ關係團體ニモ十分ノ督勵ト協力ヲ求メテ  
今日ヤツテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ  
ノ場合ニ種々事情モ異シテ居リマシテ、之  
ニ對シテ徹底セル扶助ヲ爲スト云フコト  
ハ、只今御論述ノアリマシタ通リ中々ニ困  
難ガアルノデアリマス、併ナガラ政府ト致  
シマシテハ有ユル努力ヲ拂ヒマシテ銃後ノ  
只今ノ御演説モ十分ニ拜承致シマシタ、私  
共ハ今後此方面ニ付テハ篤ト考究ヲ重ネツ  
ツ、銃後ノ後援ノ普及徹底ヲ合理的ニ行フ  
コトヲ實行シタイト考ヘテ居リマス（拍手）



近衛首相ハ能ク御諒解下サル筈ト信ジマシテ、敢テ茲ニ長談義ヲ差控ヘマス、要スルニ第一ハ這度ノ事變ノ本質ニ基ク大義名分ト、根本方針ノ闡明ニ付テ、第二ハ時局ノ要求ニ基キ、ヨリ深キ理解ニ因ル國民的結束ニ付テ、第三ハ時局對策トシテノ摩擦相剋ノ根本解消ニ付テ、第四ハ國策ノ樹立遂行ト政權強化ニ付テ、第五ハ雄大ナル世界政策ノ決意ニ付テ申述ベタ心算デアリマス、何卒右五箇條ニ互リマシテ、御差支ナキ限り御所懷ノ一端ニテモ御披瀝下サイマスルナラバ、此際國民ト共ニ極メテ欣幸トスル所デゴザイマス(拍手)

(國務大臣公爵近衛文麿君登壇)

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 秋田君ニ御答ヲ致シマス、支那ニ對スル帝國ノ根本方針ハ、先程モ此壇上ニ於キマシテ申述ベマシタ通リデアリマス、殊ニ昨日ノ御勅語ニ依リマシテ、大義名分ハ既ニ明白ニ示サレテ居ルト考ヘルノデアリマス(拍手)只今秋田君ハ、時局ニ關シマシテ縷々御所見ヲ御キマシテハ御同感デアリマス、國民ヲシテ此時局ヲ一層能ク認識セシムル必要ガアルト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、是亦又相剋摩擦ノ解消ト云フコトニ付テモ御話ガゴザイマシタガ、此事ハ此内閣組閣ハ、之ニ向ツテ努力ヲ惜マス積リデアリマス、又相剋摩擦ノ解消ト云フコトニ付テモ御話ガゴザイマシタガ、此事ハ此内閣組閣以來ノ重大ナル使命ノ一つ考ヘテ居リマス、斯ル非常ノ事態ニ際會致シマシテ、一

層其必要ヲ痛感スル次第デアリマス、將來ノ國策遂行ニ付キマシテ、政府ニ覺悟ヲ促ス激勵ノ御言葉ガアリマシタガ、之ニ對シマシテハ深ク感謝致シマス、精々御趣意ニ副フヤウニ努力致ス積リデアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 片山哲君

(片山哲君登壇)

○片山哲君 私ハ社會大眾黨ヲ代表致シマシテ、政府ニ向ヒ外交、財政、產業ノ問題ニ付キマシテ質問ヲ致シタイト思フノデア

リマス、就キマシテハ先づ最初ニ私共ノ立場ヲ申述ベタイト存ジマス、言フ迄モナ

ク、今次ノ事變ハ極メテ重大デアリマシ

テ、且ツ未曾有ノ重大性ヲ持ッテ居ルノデ

アリマス、私共ハ此事變ノ進展ニ應ジマシ

テ、慎重ナル態度ト又考慮ヲ拂ヒマシテ、

現内閣ノ掲ゲテ居リマシタ今マデノ主張ヲ

支持激勵シテ參ッタノデアリマス、所ガ政

府ノ從來唱ヘテ居リマシタ不擴大方針ヲ、

今日一擲セザルヲ得ナクナッタノハ、我國

ノ一貫シテ居リマス日支提携、東洋永遠平

和ノ見地カラ考へマスト、極メテ遺憾ノコ

トデアルト思フノデアリマスルガ、併シ事

迹ベニナリマシタガ、其大體ノ御趣旨ニ於

キマシテハ御同感デアリマス、國民ヲシテ

此時局ヲ一層能ク認識セシムル必要ガアル

ト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、是亦

又相剋摩擦ノ解消ト云フコトニ付テモ

御話ガゴザイマシタガ、此事ハ此内閣組閣ハ、之ニ向ツテ努力ヲ惜マス積リデアリマ

ス、又相剋摩擦ノ解消ト云フコトニ付テモ

御話ガゴザイマシタガ、此事ハ此内閣組閣以來ノ重大ナル使命ノ一つ考ヘテ居リマ

ス、斯ル非常ノ事態ニ際會致シマシテ、一

途ハナイト考ヘルノデアリマス(拍手)此意

味ニ於キマシテ、新シイ此舉國一致ニ參加

致シ、國難突破ノ爲ニ微力ヲ傾倒致シタイ

ト思フノデアリマス(拍手)私ノ質問モ此見

地ニ起ッテノ故デアリマスルカラ、近衛内閣

ヲ鞭撻シ且ツ激勵シ、以テ非常時克服ノ爲

ニ色々ノ點ヨリ質問ヲ展開致シタイト思フ

ノデアリマス

先づ第一ニ首相ニ對シテ質問ヲ致シタイト

ノデアリマスガ、其點ハ時局進展ヲ私共ガ

考ヘマスル時ニ、先づ對支根本政策、即チ

ノデアリマスガ、其點ハ時局進展ヲ私共ガ

考ヘマスル時ニ止メタイト思ヒマス

スガ、第一ハ一旦緩急アル場合ニ我ガ國民

ハ舉國一致國難ニ當ルト云フコトハ、我ガ

ガアルノデハナカラウカ、而シテ其爲ニハ

國民ノ全協力ヲ求メル外交機關ノ設置ヲ必

要トスルノデハナイカ、此點ニ關シテ首相

ガアルノデハナカラウカ、而シテ其爲ニハ

國民性ト國情ト歴史ノ然ラシムル美風デア

スガ、第一ハ一旦緩急アル場合ニ我ガ國民

ハ舉國一致國難ニ當ルト云フコトハ、我ガ

ガアルノデハナカラウカ、而シテ其爲ニハ

國民性ト國情ト歴史ノ然ラシムル美風デア

ス、併ナガラ之ニ加フルニ軍部ガ豫テ唱ヘ

ルト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマ

ス、併ナガラ之ニ加フルニ軍部ガ豫テ唱ヘ

テ居リマシタ廣義國防ト、首相ガ組閣當時

聲明サレマシタ社會正義、國際正義ヲ信賴

致シマシテ、極メテ敏活ナル舉國一致行動

ヲ執ルコトガ出來ルヤウニナックト云フコ

トヲ考ヘナケレバナラナインデアリマス、

即チ首相ノ懷カレル理想ト信念ニ共鳴致シ

マシテ、茲ニ舉國一致ノ結成ガ出來テ居ル

ノデアリマス、ソコデ此國民ノ信賴ニ應ヘ

ル爲ノ對策ヲ立テナクテハナラナイ、私ノ

今唱ヘマシタ國民協力ニ依ル外交機關ノ設

置ハ舉國一致ノ延長デアッテ、國民ノ協力

一致ノ下ニ、對外政策、對支政策ノ根本策

ヲ樹立スルコトガ、今日最モ時宜ラ得タ、且

又必要ナコトデアルト信ズルノデアリマス

更ニ又支那ガ我ガ膺懲ノ爲ニ出征セル本

第一ハ政府ハ前議會ニ於テ、相手方ノ出方ニ依ツテ其場ニ至ツテ事ヲ定メナクテハナラナイト云フヤウナ點ニ付テ述ベラレテ居ツタノデアリマスルガ、左様ナ方法デハナシニ、積極的ニ一ツノ方針ヲ今日ヨリ考ヘテ置カナクテハナラヌト思フノデアリマス（拍手）政治ニ必要ナルモノハ一ツノ理想ト信念デナクテハナラナイノデアリマス、此理想ニ忠實デアリ、此信念ヲ實行スルニ勇敢デアルコトガ最モ必要デアリマス、然ラバ此意味ニ於テ衆智ヲ集メテ、一ツノ國民的ナ外交機關ヲ設置スルコトガ出來ルト云フコトヲ私ハ信ズル、若シ此理想ト信念ニ動イテ居リマス際ニ、枝葉末節ニ論議スペキ箇所アリト雖モ、國民ハソレ等ノ問題ニ付テハ全部之ヲ流シテ諒承スルデアラウト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリマス（拍手）

第三ニ對支政策根本策樹立ノ必要アルコトヲ痛感スル特別ノ理由ト致シマシテ、事變ニ對スル我國ノ目的ガ遂行サレンントスル曙光ガ見エーマンタル時ニハ、一時ニドット重要ナル問題ガ後カラノ押掛ケテ來ルニ相違ナイト思フノデアリマス、左様ナ時ニ慌テナイヤウニ今日ヨリ支那問題ニ對スル根本策ノ用意ト心構ヘガ、最モ必要ナルコトデアルト私ハ信ズルノデアリマス（拍手）

更ニ第四ニ之ヲ支那側カラ考ヘテ見ル必要素ガアラウト思フノデアリマス、即チ吾々ハ支那ヲシテ反省セシメル爲ニ具體的ナ方法ヲ早ク講ズル必要ガアルト考ヘルノデ

アリマス、抗日毎日ノヤウナ古臭イ手ヲ捨て、シマッテ、日支ノ新ナル提携ヲ建立スル爲ニオ互ニ協力致シマシテ、共産主義ヲ排シ、支那民衆ヲ指導スベキ政治政策、經濟提携工作、東洋文明ニ一新紀元ヲ劃スベキ所ノ新文化政策ヲ確立致シマシテ、以テ一日ノ長ヲ有スル所ノ我國ガ支那民衆ノ兄トナリ、師傅トナツテ、東洋平和ノ爲ニ不變ノ大方針ヲ堅持シテ居ルモノデアルト云フコトヲ明示スルコトガ、支那ヲ誘導スル

上ニ於テ最モ必要ナルコトデアルト信ズルノデアリマス（拍手）吾々ハ斯ク日支關係ノ調整ノ新シイ條項ヲ掲ゲテ、先ツ之ヲ能ク検討シ、我國ノ眞意ハ斯ノ如キモノデアルト云フコトヲ支那ヲシテ反省セシメル機會ニ、且又機縁ニ、之ヲシナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、「ソ」聯ノ攻略カラ之ヲ救ヒ、第三國干涉侵入ノ憂ヲ斷チ、支那ノ西班牙化ヲ救フ所以ハ茲ニ在リト云フコトヲ私ハ信ズル者デアリマス（拍手）

以上ノ理由ニ依リマシテ、在來ノ如キ祕密的ナ、官僚的ナ、獨善的ナ施設デハナクシテ、國民ノ熱叫ニ依ル新シキ一ツノ外交機關、即チ國民協力外交委員會ヲ設置スルコトガ、今日ノ最大ノ急務デアルテ、此國民外交委員會ヲ通ジテ、對支問題ノ根本策ヲ能ク検討シ、之ヲ支那ニ提示シテ、支那

ヲ克服スル爲ニ最大ノ努力ヲ拂ハレテ居ト云フコトハ能ク諒解スル所デアリマス（拍手）吾々ハナクシテ、斯ル見地ニ立ツテ根本トナリ、是等ノ具體策ニ對シマシテ、首相ハ如何ナル所見ヲ有セラレルカ、此機會ニ於テ

吾々ハ承リタイト考ヘルノデアリマス（拍手）是ハ根本策ヲ今披瀝シテ貰ヒタイト云フノデハナクシテ、斯ル見地ニ立ツテ根本策ヲ檢討スル心構ヘト用意ヲ必要トスルノデアルト云フコトニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス（拍手）

次ニ財政問題ニ關シマシテ首相ニ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、今日ノ戰時體制下ニ於キマシテ、國民生活安定政策ヲ提出スル必要ヲ首相ハ御感ジニナツテ居ラレカドウカ、先程上程セラレマシタ所ノ戰時體制經濟立法ヲ見マスナラバ、國民生活安定ニ關スル政策無キヲ吾々ハ遺憾トスル者デアリマス、吾々ハ今回ノ必要ナル經費ハ有ユル手段ヲ盡シテ捻出シナケレバナラナイモノデアルト云フ點ニ於テハ異議ヲ有タナイモノデアリマスガ、併ナガラ國民生活安定策ガ、戰時體制下ニ於テ最モ必要ナル所ノ基礎工作デアルト云フコトヲ痛感スル者デアリマス、併ナガラ吾々ノ申シマスモ此機會ニ免レタイト云フヤウナ、左様ナ利己本位ナ安逸主義デハ断ジテナインオデアリマス（拍手）吾々ハ國難ニ處シテ共ニ苦勞スルケガ樂ラシヨウトカ、或ハ今迄ノ負擔ヲモ此機會ニ免レタイト云フヤウナ、左様ナ

谅解致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ効率化スルト云フコトガ、東洋永遠ノ平和ノ爲ニ最モ必要デアルト云フコトヲ私ハ痛感スル者デアリマス（拍手）

近衛首相ガ此重大ナル時機ヲ乘切リ、之ヲシナケレバナラナイト云フコトハ、十二分ニ

ヲ克服スル爲ニ最大ノ努力ヲ拂ハレテ居ト云フコトハ能ク諒解スル所デアリマス（拍手）吾々ハナクシテ、斯ル見地ニ立ツテ根本トナリ、是等ノ具體策ニ對シマシテ、首相ハ如何ナル所見ヲ有セラレルカ、此機會ニ於テ

吾々ハ承リタイト考ヘルノデアリマス（拍手）是ハ根本策ヲ今披瀝シテ貰ヒタイト云フノデハナクシテ、斯ル見地ニ立ツテ根本策ヲ檢討スル心構ヘト用意ヲ必要トスルノデアルト云フコトニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス（拍手）

次ニ財政問題ニ關シマシテ首相ニ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、今日ノ戰時體制下ニ於キマシテ、國民生活安定政策ヲ提出スル必要ヲ首相ハ御感ジニナツテ居ラレカドウカ、先程上程セラレマシタ所ノ戰時體制經濟立法ヲ見マスナラバ、國民生活安定ニ關スル政策無キヲ吾々ハ遺憾トスル者デアリマス、吾々ハ今回ノ必要ナル經費ハ有ユル手段ヲ盡シテ捻出シナケレバナラナイモノデアルト云フ點ニ於テハ異議ヲ有タナイモノデアリマスガ、併ナガラ國民生活安定策ガ、戰時體制下ニ於テ最モ必要ナル所ノ基礎工作デアルト云フコトヲ痛感スル者デアリマス、併ナガラ吾々ノ申シマスモ此機會ニ免レタイト云フヤウナ、左様ナ利己本位ナ安逸主義デハ断ジテナインオデアリマス（拍手）吾々ハ國難ニ處シテ共ニ苦勞スルノデアリマス、戰時勞働立法ハ、是亦勞働者ノ自己本位、利己主義ニ立脚致シテ戦時勞働立法ヲ提出スルコトノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、戰時勞働立法ハ、是亦勞働者ノ自己本位、利己主義ニ立脚致シテ居ルモノデハ断ジテナクシテ、勞働階級ノ擴充スルト云フコトガ、產業發展政策ノ基

本デアルト云フ見地ニ立ツテ居ルノデアリマス（拍手）或ハ今日ノ勞働者職業紹介事業ヲ國家ガ統一シ、之ヲ強化致シマシテ、之ニ依リ勞働力ノ補填ヲ爲スト云フコトナド

モ、戰時體制ニ於ケル產業充實政策上缺クベカラザル要素デアルト云フコトヲ私ハ信ズル者デアリマス、且又勞働者ノ意見ヲ合理的ニ國策ニ反映セシムルコトモ亦執ラナクテハナラナイノデアリマス、戰時體制下ニ於ケル產業發展策トシテ、是等ノ立法ヘ豫算ニハ大シタ關係ハナイノデアリマス、直チニ金ガドレダケ要ルト云フヤウナ經濟數學ノ問題デハナクシテ、之ニ依ツテ民衆ノ生活ヲ向上セシムルト共ニ、之ニ依ツテ產業ヲ發展セシムルモノデアルト云フ見地ニ立ツノデアリマスカラ、世界列強ハ競ツテ戰時勞働立法デアルトカ、農村立法デアルトカ、社會立法等ニ著々トシテ其立案ヲ急イデ居ルト云フコトハ、既ニ諒承ノコトデスルケレドモ、我國ニ於キマシテ、戰時體制アラウト存ズルノデアリマス、勿論其内容ニ付キマシテハ、色々差ガアルノデアリマス、是等ノ經濟政策トシテ、何等勞働政策モ、社會立法モ、農村對策モナイト云フコトハ、戰時經濟體制ヲ整ヘル上ニ於キマシテモ、一大缺陷アリト云フコトヲ指摘シナケレバナラナイノデアリマス、尙ほ其外ニ農民或ハ小賣商人ニ對スル社會立法ハ、國民生活安定政策トシテ最モ必要ナルコトト思フガ、是等ヲ出サナカッタ理由及ビ是等ニ關スル首相ノ所見ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス

次ハ大藏大臣ニ御伺ヲ致シタイノデアリマス、戰時體制下ニ於キマシテ、只今提案サレタ如キ統制經濟立法一點張リデ何等問題ガ起ラズ、又難局ヲ切抜ケ得ルト思ハレルナラバ、生活不安ヲ除ク戰時經濟ノ生活ニ於ケル產業發展策トシテ、是等ノ立法ヘ豫算ニハ大シタ關係ハナイノデアリマス、直チニ金ガドレダケ要ルト云フヤウナ經濟數學ノ問題デハナクシテ、之ニ依ツテ民衆ノ生活ヲ向上セシムルト共ニ、之ニ依ツテ產業ヲ發展セシムルモノデアルト云フ見地ニ立ツノデアリマスカラ、世界列強ハ競ツテ戰時勞働立法デアルトカ、農村立法デアルトカ、社會立法等ニ著々トシテ其立案ヲ急イデ居ルト云フコトハ、既ニ諒承ノコトデスルケレドモ、我國ニ於キマシテ、戰時體制アラウト存ズルノデアリマス、勿論其内容ニ付キマシテハ、色々差ガアルノデアリマス、是等ニ對シマシテ、對策ヲ樹テズシテ抛リ放シニシテ置イテ、ソレデ宜イノデアリマセウカ、勿論考ハ色々立テ得マセウ、立テ得マスルケレドモ、戰時體制經濟政策、非常時立法ト云フ名前ノ下ニソレヲ急グ餘リ、即チ是等ニ對シテ專念スル餘リ、國民大眾ニ犠牲ヲ非常ニ數字ヲ以テ負ハスト云フコトヲ、私共ハ憂ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ戰時體制ノ犠牲ヲ國力充實、產業發展ノ策ニナラナイモノデアルト云フコトヲ明ニシナケレバナラナイノデアリマス(拍手)戰時體制ノ犠牲ハ極メテ不公平デアルト云フコトニナッテ參リマスルト、此處ヨリ決済ガ始マルノデハナラウカト云フコトヲ明ニシナケレバナラナイノデアリマス、惡性「インフレ」ヲ防止シナケレバナラナイト云フコトハ、既ニ今日一般國民

題ガ起ラズ、又難局ヲ切抜ケ得ルト思ハレルナラバ、生活不安ヲ除ク戰時經濟ノ生活ニ於ケル產業發展策トシテ、是等ノ立法ヘ豫算ニハ大シタ關係ハナクテハナラナイト云ナイト云フ點ニ付テ、大藏大臣ノ所見ヲ伺對策ヲ具體的ニ明示シテ貰ハナクテハナラルナラバ、一大事デアルト云フコトニナッタナラバ、一大事デアルト云ナイト云フ點ニ付テ、大藏大臣ノ所見ヲ伺對策ノ半面ニ於キマシテハ、先程大口氏ガ指摘セラレマシタヤウニ、物價騰貴問題ガ當然起ツテ參リマス、又既ニ顯著ナル如ク、大キナ數字ヲ示ス所ノ入超ガ現レテ參リマス、又平和產業ノ行詰リヲ生ジマス、之ニ基イテ中小事業家、或ハ小賣商人、自由職業者ノ生活不安ガ生ズルコト思フノデアリマス、是等ニ對シマシテ、對策ヲ樹テズシテ抛リ放シニシテ置イテ、ソレデ宜イノデアリマセウカ、勿論考ハ色々立テ得マセウ、立テ得マスルケレドモ、戰時體制經濟政策、非常時立法ト云フ名前ノ下ニソレヲ急グ餘リ、即チ是等ニ對シテ專念スル餘リ、國民大眾ニ犠牲ヲ非常ニ數字ヲ以テ負ハスト云フコトヲ、私共ハ憂ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)此統制經濟立法ニ依ツテ犠牲ヲ受ケツ、アル國民大眾ニ對シテ、何等カノ經濟對策ヲ樹テルト云フコト進ハ唯單ナル統制經濟、非常時立法一點張リデハ斷ジテ國民ハ承服スルコトガ出來ナス、一步前進シナケレバナラナイ、一步前進ハ急グ餘リ、即チ是等ニ對シテ專念スル餘リ、國民大眾ニ犠牲ヲ非常ニ數字ヲ以テ負ハスト云フコトヲ、私共ハ憂ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ戰時體制ノ犠牲ヲ國力充實、產業發展ノ策ニナラナイモノデアルト云フコトヲ明ニシナケレバナラナイノデアリマス(拍手)戰時體制ノ犠牲ハ極メテ不公平デアルト云フコトニナッテ參リマスルト、此處ヨリ決済ガ始マルノデハナラウカト云フコトヲ明ニシナケレバナラナイノデアリマス、惡性「インフレ」ヲ防止シナケレバナラナイト云フコトハ、既ニ今日一般國民

ノ諒承致シテ居ル所デアリマス、惡性「インフレ」類似ノ社會不安ガ若シ招來スルト云フコトニナッタナラバ、一大事デアルト云ナイト云フ點ニ付テ、大藏大臣ノ所見ヲ伺對策ノ具體的ニ明示シテ貰ハナクテハナラルナラバ、一大事デアルト云フコトニナッタナラバ、一大事デアルト云ナイト云フ點ニ付テ、大藏大臣ノ所見ヲ伺對策ノ半面ニ於キマシテハ、先程大口氏ガ指摘セラレマシタヤウニ、物價騰貴問題ガ當然起ツテ參リマス、又既ニ顯著ナル如ク、大キナ數字ヲ示ス所ノ入超ガ現レテ參リマス、又平和產業ノ行詰リヲ生ジマス、之ニ基イテ中小事業家、或ハ小賣商人、自由職業者ノ生活不安ガ生ズルコト思フノデアリマス、是等ニ對シマシテ、對策ヲ樹テズシテ抛リ放シニシテ置イテ、ソレデ宜イノデアリマセウカ、勿論考ハ色々立テ得マセウ、立テ得マスルケレドモ、戰時體制經濟政策、非常時立法ト云フ名前ノ下ニソレヲ急グ餘リ、即チ是等ニ對シテ專念スル餘リ、國民大眾ニ犠牲ヲ非常ニ數字ヲ以テ負ハスト云フコトヲ、私共ハ憂ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)此統制經濟立法ニ依ツテ犠牲ヲ受ケツ、アル國民大眾ニ對シテ何等カノ經濟對策ヲ樹テルト云フコト進ハ唯單ナル統制經濟、非常時立法一點張リデハ斷ジテ國民ハ承服スルコトガ出來ナス、一步前進シナケレバナラナイ、一步前進ハ急グ餘リ、即チ是等ニ對シテ專念スル餘リ、國民大眾ニ犠牲ヲ非常ニ數字ヲ以テ負ハスト云フコトヲ、私共ハ憂ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ戰時體制ノ犠牲ヲ國力充實、產業發展ノ策ニナラナイモノデアルト云フコトヲ明ニシナケレバナラナイノデアリマス(拍手)戰時體制ノ犠牲ハ極メテ不公平デアルト云フコトニナッテ參リマスルト、此處ヨリ決済ガ始マルノデハナラウカト云フコトヲ明ニシナケレバナラナイノデアリマス、即チ戰時體制ノ犠牲ヲ受ケテルナラバ、自然高利貸ノ下ニ走ラナクテハナラナイノデアリマス、サウ致シマスルト、娘ヲ賣ツタリ、或ハ青田ヲ賣ツタリ、白田ヲ賣ツタリスルト云フヤウナ農村ノ悲慘ナル狀態ガ、戰時體制下ニ又現ハレテ來ルニ相違ナイト云フコトヲ私共ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、戰時體制ノ影響ヲ受ケル農民金融ニ付キマシテ、大藏大臣竝ニ農林大臣ハ如何ナル具體對策ヲ樹テ居ラレルカ、此點ニ對スル所見ヲ伺ヒタイト存ズ、

更ニ商工大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、戰時立法ノ運用ニ依リマシテ、自治統制ヲ尊重スルト云フヤウナ御話デアリマスルガ、自治統制ハ結局一部少數事業家ノ獨占スル所トナリマシテ、其爲ニ中小事業家ガ非常ナル壓迫ヲ受ケ、且ツ消費者一般ノ不利益ヲ來スコト極メテ重大デアルト云フコトヲ私共ハ考ヘルノデアリマス(拍手)此點ニ關スル商相ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス之ヲ具體的ニ申シマスルナラバ、今提案セラレマシタ貿易管理ノ非常時立法デアリバ、管理ノ目的ハ國家産業本位デナクテハマスルガ、吾々所見ヲ以テシマスルナラナラナインノ言フ迄モナイノデアリマス、自治ト能率的ト云フ言葉ニ因ハレマシテ、一部少數ノ事業家ニ之ヲ獨占セシムル傾向ガアルト云フコトハ、國家産業本位ノ上カラ申シマシテ、斷ジテ排撃シナケレバナラナイ點デアルト云フコトヲ言ハナケレバナリマセヌ(拍手)且ツ新聞紙ノ報道スル所ニ依リマスルト、軍需資材ノ輸入ヲ或る貿易會社ニ一手引受ラセシメ、之ヲ通ジテ政府ガ統制ヲ爲スト云フヤウナ案ガ發表セラレテ居ルノデアリマス、斯ル獨占的ナ自治統制ガ今日行ハレテ居ルノデアルカ、政府亦之ヲ支持スルノデアルカ、商工大臣ノ明快ナル御答辯ヲ伺ヒタイノデアリマス、若シサウダト致シマスルナラバ、明ニ自治統制ハ少數大事業家ノ獨占利潤ヲ擁護スルト云フ結果ニナリマシテ、中小事業家及び一般消費者ニ非常ナル迷惑ヲ掛ケルト云フコト

ハ、極メテ明瞭デアルト言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)斯ウ云フコトニナッテシマシテ「カルテル」「トラスト」ノ獨占利潤ヲ益、增長セシメルト云フ結果ニナッテ參ルノデアリマス、商工大臣ハ戰時非常體制經濟立法ヲ一面ニ於テ制定シ、一面ニ於テ一般消費者及ビ中小事業家保護ノ政策ヲ忘レテ居ルノデハナイカト云フコトヲ質問セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)即チ中小事業家及ビ一般消費者ニ對スル對策如何ヲ伺ヒタイノデアリマス更ニ此機會ニ、我國ニ於ケル獨占事業ノ價格ガ非常ニ暴騰致シテ居ルノ状態ヲ繼續シテ居リマスルコトハ、極メテ明ニナッテ居リマスルガ、是等ニ對シマシテ如何ナル對策ヲ執ツテ居ラル、カ、私ハ此機會ニ獨占事業ヲ抑ヘル爲ニハ、重要産業統制法ノ改正ヲヤル必要ガアルノデハナカラウカト信ズルノデアリマス、一般消費者、中小事業家保護ノ政策ヲ考慮致シマシテ、重要產業統制法ノ改正ノ必要アリト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、統制委員會ニ何故ニ消費者代表ヲ入レテ居ナイノデアリマスル最後ニ一言申上ゲタイノデアリマス、吾々ノ主張致シマスル國民生活安定ハ、前ニ申述ベタ通リデアリマスルガ、一つノ階級、一つノ階層、一部分ノ利害ヲ中心トシテ言ツテ居ルモノデハ決シテナイノデアリマス、ニ前々議會ニ於キマシテ此法律ガ改正サヘルノデアリマス、統制委員會ニ何故ニ消費者代表ヲ入レテ居ナイノデアリマスル御尋デアリマシタ、政府ハ此重大ナル時局ニ際シテ、此難關ヲ突破スル爲ニ、最モ重キ責任ヲ感ズルノデアリマス、獨リ外交ノミナラズ、經濟、財政、產業ノ各方面ニ互シテ、是等各方面ノ協力御援助ニ依リマシテ、時局ニ對處シテ行キタイト存ジテ居ルノデアリマス、其實現ノ方法ニ付キマシテ

ハ、極メテ明瞭デアルト言ハザルヲ得ナイシマシテ、中小事業家、一般消費者ニ非常ナル壓力加ヘテ居ルノデハナカラウカト云フ點シマシテ「カルテル」「トラスト」ノ獨占利潤ヲ益、增長セシメルト云フ結果ニナッテ參ルノデアリマス、商工大臣ハ戰時非常體制經濟立法ヲ一面ニ於テ制定シ、一面ニ於テ一般消費者及ビ中小事業家保護ノ政策ヲ忘レテ居ルノデハナイカト云フコトヲ質問セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)吾々ハ銃後デ殆ド發動セラレタヤウデアリマスルケレドモ、リマス、最近或ル獨占事業者ニ對シマシテ、政府ハ報告ヲ求メルト云フヤウナ文書ヲ發セラレタヤウデアリマスルケレドモ、斯ル手緩イヤウナ狀態デハナクシテ、斷然一切ノ獨占業者ニ對シマシテ、本法第三條ヲ發動サレマシテ、最モ有效適切ナル對策ヲ執ルコトガ必要デアルト云フコトヲ、私共ガ茲ニ考ヘナケレバナラナイト思フノデアリマス以上ノ諸點ニ付キマシテ、外交、產業及ビ財政、以下伺ヒタイノデアリマスルガ、最後ニ一言申上ゲタイノデアリマス、吾々ノ主張致シマスル國民生活安定ハ、前ニ申述ベタ通リデアリマスルガ、一つノ階級、一つノ階層、一部分ノ利害ヲ中心トシテ言ツテ居ルモノデハ決シテナイノデアリマス、ニ前々議會ニ於キマシテ此法律ガ改正サヘルノデアリマス、統制委員會ニ何故ニ消費者代表ヲ入レテ居ナイノデアリマスル御尋デアリマシタ、政府ハ此重大ナル時局ニ際シテ、此難關ヲ突破スル爲ニ、最モ重キ責任ヲ感ズルノデアリマス、獨リ外交ノミナラズ、經濟、財政、產業ノ各方面ニ互シテ、是等各方面ノ協力御援助ニ依リマシテ、時局ニ對處シテ行キタイト存ジテ居ルノデアリマス、其實現ノ方法ニ付キマシテ

ハ、目下考慮致シテ居ルノデアリマス(拍手)

次ニ國民生活ノ安定ニ關シマシテ御尋ガアリマシタガ、今日ノ如キ軍事ニ厖大ナル經費ヲ要スル際ニ於キマシテ、積極的ニ國民生活ノ向上改善ヲ圖ルト云フコトハ中々困難デアリマスガ、併ナガラ決シテ政府ハ國民生活ノ安定ノ問題ヲ閑却シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、此際ニ於キマシテモ、社會立法等ニ付キマンテ攻究ヲ重ネテ居リマス、來ルベキ通常議會ニハ財政ノ許ス限り之ヲ提案シタイト存ジテ居ルノデアリマス(拍手)今日ハ國民何レモ其日常生活ニ於テ相當ノ犠牲ヲ甘受スル覺悟ガナケレバナラヌト恩ヒマス(拍手)唯其犠牲ノ負擔ハ只今モ仰セナリマシタヤウニ、全國民各階層平等ニ、公平ニ負擔セラルベキモノト考ヘマス(拍手)

○國務大臣賀屋興宣君登壇

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御質問ニ御答申上げマス、此國民生活ノ安定ニ付キマシテハ、各方面ヨリ考ヘラレルノデアリマスルガ、大體ニ於キマシテ此時局ニ相成リマスト云フト、勞働ノ需要ハ増加スルコト考フルノデアリマス、相當ノ増加ヲ致シマスルノデ、其意味ニ於キマシテハ、憂鬱ベキ點ハ甚ダ少イト考ヘテ居ル次第デアリマス、産業ニ致シマシテモ、軍需工業其他ハ益、勞働ノ需要ヲ増加スルコト考フルノデアリマス、平和産業ニ付キマシテハ、先刻來申上ゲマスルヤウニ、新ナル擴

張新設ハ止メルニ致シマシテモ、從來ノ規模ニ於キマシテ、其運轉ヲ見ルコトハ間違ナイノデアリマスルカラ、此點ニ付テノ御心配ハ要ラナイ、寧ロ勞働ノ需要ノ增加、而モソレガ新ナル方面ニ於テ需要ガ起リマスル爲ニ、其轉換等ニ於テ多少ノ摩擦ト申シマスルカ、不便ハアリマセウガ、大體ニ於キマシテ、勞働ハ寧ロ好イ狀況ニナルト考ヘテ居ルノデアリマス

物價ニ付キマシテハ、事業ノ調整其他ニ於キマシテ、物資ノ需給ヲ適合ノ圖ル方策ニ專念致シマスルノデ、非常ナル暴騰ヲ見ルト云フコトハナイト思フノデアリマス、此國民生活ノ安定ニ付キマシテ、消極的方面

デハアリマスルガ、最モ重要ナルモノハ爲替相場ノ維持アリマス、此維持ガ崩レマスルト云フト、爲替相場ノ暴落トナリマシテ、所謂惡性「インフレーション」ノ現象ヲ呈

シマス、物價ノ暴騰、國民生活ノ非常ナル困難、其他各種ノ積極的施設モ之ヲ行フノ力ヲ失フノデアリマスルガ、爲替相場ヲ維持致シマスレバ、左様ナ方面ニ於テ大キナ心配ハ斷然ナイノデアリマス(現狀維持ナマスルガ、大體ニ於キマシテ此時局ニ相成リマスト云フト、勞働ノ需要ハ増加スルコト考フルノデアリマス、相當ノ増加ヲ致シマスルノデ、其意味ニ於キマシテハ、憂鬱ベキ點ハ甚ダ少イト考ヘテ居ル次第デアリマス、産業ニ致シマシテモ、軍需工業其他ハ益、勞働ノ需要ヲ増加スルコト考フルノデアリマス、平和産業ニ付キマシテハ、先刻來申上ゲマスルヤウニ、新ナル擴

ノ散布ガ多イト思ハレマスル都市方面デアリマシテ、農村關係ハ出來ルダケノ考慮ヲ拂ツテ居リマス、例ヘバ農村經濟更生施設ニ要シマスル預金部ノ資金ノ如キモノハ、又少額デハアリマスルガ、自作農資金ノ如キモノモ、本年度ヨリ初メテ預金部ヨリ供給ヲ致ス積リデ居ルノデアリマス、尙ホ今日提案ノ理由ノ説明ガアリマシタ米穀ノ非直接、間接農村ニ散布致サレマスル資金モ相當ノ額ニ上ルト思ハレルノデアリマント云フコトハナイト思フノデアリマス、此國民生活ノ安定ニ付キマシテモ、尙ホ今

時局ニ對應スル買入等ニ於キマシテモ、直接、間接農村ニ散布致サレマスル資金モ相當ノ額ニ上ルト思ハレルノデアリマント云フコトハナイト思フノデアリマス(拍手)次第デアリマス(拍手)

○國務大臣吉野信次君登壇

○國務大臣(吉野信次君) 只今片山君カラ所謂當業者ノ自治統制ト云フコトニ付テ段落ノ御話ガゴザイマシタガ、御話ノヤウニ大企業家ガ中小ノ產業家ヲ壓迫スルト云フヤウナ風ニ、一部ノ經濟層ノ利害ニ墮スルヤウナコトニハナラナイヤウニ、非常時經濟ノ運用ヲ致ス積リデゴザイマス、當業者ニ於キマシテモ得手勝手ナコトダケヲ主張致シマセヌデ、其業全體ノ利益或ハ國民經濟ノ運用ヲ致ス積リデゴザイマス、當業者ニ於キマシテモ得手勝手ナコトガ起シテ參

融ニ對シテノ御尋デアリマスルガ、是モ先刻一般金融ニ付テ申上ゲマシタヤウニ、非常常ニ無理ヲシテ信用組合等ニ公債ノ保有ヲコトモ相當ノ效果アル譯デアリマシテ、從來ノ地方資金ノ額ヲ相當節約致シマスルガ、ソレハ今回ノ時局ニ因ル主トシテ資金マシタガ、決シテ從來ト雖モ獨占企業ノ助

リマス

ソレカラ獨占企業ニ關スル御話ガゴザイマシタガ、決シテ從來ト雖モ獨占企業ノ助長ヲ致シテ居ル積リハ少シモナイノデアリマシテ、今日ニ於キマシテモ獨占企業ノ弊害ト云フコトニ對シマシテハ、十分ニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、今後ニ於キマシテモ重要產業統制法ノ運用ナドニ於キマシテ、其點ニ付キマシテハ十二分ノ注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス(拍手)

○國務大臣伯爵有馬賴寧君登壇

○國務大臣(伯爵有馬賴寧君) 農業金融ノコトニ付キマシテ御尋ガゴザイマシテ、只今大藏大臣カラ大體御答ニナリマシタカラ、私カラ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイト存ジマスガ、此時局ノ影響ト致シマシテ、將來ノ農業ノ生産ヲ減退セシムル虞ノアルヤウナコトハ、極力避ケナケレバナラナイト思ヒマス、明治二十七年ノ日清戰爭ノ年ガ非常ナ豐作デアッタニモ拘ラズ、翌年ハ非常ナ減收デアッタ、又日露戰爭ノ三十七年ハ非常ナ豐作デアッタノニ、三十八年ハ非常ナ凶作デアッタト云フヤウナコトガ、必シモ事實トナシテ現ハレルトハ考ヘラレマセヌケレドモ、若シ本年ノ豐作ニ比シテ來年非常ニ凶作デアッタト云フヤウナコトガ起シテ参

リマスレバ、是ハ農村ノ問題、又食糧問題

カラ考ヘマシテ、非常ニ重大ナ問題ダト

思ブノデアリマス、隨テ農業ノ減產ヲ來シ

マスルヤウナコトハ極力避ケタイト考ヘテ

居リマス、隨テ農業金融ノ問題ハ非常ニ重

大デアリマスカラ、其點支障ヲ來シマスヤウナコトハ、出來ルダケ避ケルヤウニ努メ

唯只今片山サンカラ御話ノゴザイマシタ中ニ、産業組合ガ公債ノ引受ヲスル爲ニ資金ノ貸出ニ不足ヲ來スヤウナコトハナイカト云フヤウナ御話ガゴザイマンタガ、兎角ノ批評ノ從來ゴザイマシタ産業組合ト致シマシテハ、此際其力ノ許ス限リニ於テ此國債ニ應ズルト云フコトハ、私ハ寧ロ懲憲スペキコト思フノデアリマス、其實際上必要ナ貸付ノ資金ハ、現在聯合會其他ニ於テ他ニ融通サレテ居リマスル資金ヲ其方へ運用致シマスレバ、大シテ差支ヲ生ズルヤウナコトハナイト考ヘマスカラ、國家ノ爲ニ出来ルダケノ御奉公モシ、同時ニ農村ノ金融ニモ支障ヲ來サナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 中野正剛君

(中野正剛君登壇)

○中野正剛君 諸君、事變勃發ノ直後七月十一日ニ内閣カラ吾々ニ懇談セラレマシタ當時ノ對支方針ハ、局地解決デアリ、不擴大デアッタノデアリマス、然ルニ其後戦争ハ擴大シ、今ヤ全面的ノ日支戰爭トナッタ、ソレバカリカ、最モ注意スベキコトハ、外來的勢力ノ浸潤、策動ニ依リマシテ、戰爭ハ最モ惡質ヲ帶ビ、西班牙戰爭ニ似タル國際戰爭ノ形態ヲ帶ビテ來タノデアリマス、宣戰ノ布告ガナイカラ此時局ハ戰争以下ノモノデアルトハ考ヘラレナイ、寧ロ宣戰布告ガアリ得ナイ程、ソレ程時局ハ紛糾シ「デリケート」ナ關係ヲ持ツ、我ガ東洋ニ取り

ス(拍手)廣田外務大臣ハ嘗テ外務大臣在職中、我輩ノ在職中斷ジテ東洋ニ戰爭ナシト言ハレタガ、併シ戰爭ハ斯ノ如ク發展シテ居ル、廣田外相ノ考ヘ方ハ平和ヲ專念スル其衷心ヨリ發シタモノデアリマス、若シソレガ形勢ノ觀測デアッタスレバ、其觀測ハガラリト外レテ居ルト私ハ考ヘマス、此不擴大ヨリ擴大ニ至ル、又我輩ノ在職中戰爭ナシト云フ外務大臣ヲ以テ組織セラレタル近衛内閣、今日ノ時局ニ對シテ御感想如何、私ハ承リタイモノデアリマス、兎ニ角大勢ハ豫測ニ反シテ發展シテ行ツタ、現實ハ内閣諸公ノ御希望ニ副ハナイ、是ダケハ事實デアル、外ヨリ來ル原因デハアリマスガ、此時ニシッカリ考ヘ直サル、コトガ必要デアルト思フ、東方會ハ前期議會ニ於テ對支戰爭ノ目的ト方法ニ付テ率直ナル進言ヲ試ミタ、私共ノ同志ト近衛首相トノ應答ハ今尙ホ速記錄ノ上ニ残ツテ居ル、吾々ノ目的トスル所ハ何處デアルカト言ヘバ、日本ノ傳統的使命タル東亞共存原則ヲ確立遂行

スルニアリ、而シテ是ガ邪魔物デアル外來ノ歐洲的支配原則ヲ排撃スルニアル、吾々ノ戰ヒ取ラント欲スル所ノモノハ土地ニアラズ、資源ニアラズシテ、此無形ノ東亞共存ノ原則デアルコトヲ吾々ハ高調シテ置イタノ

ノ確立、外來支配原則ノ排撃、是レニツガ決リマスルナラバ、一舉ニシテ外來支配原則ノ傀儡トナレル南京政府ノ中堅ヲ殲滅的ニ一擊スルコトガ、戰鬪遂行ノ手段デアルコトハ自ラ明白デアルノデアル、前回ノ質問ニ當リ近衛首相ハ南京政府ヲ敵視スルノハ早イ、南京政府ノ中ニハ吾々ヲ理解スル者ガアルト言ハレタ、私モ個人トシテハサウ云フ考ヲ持ツ、彼ノ上海ニ閼死シタ黃郛君ノ如キガ吾々ト話シタ當時ノ言葉ナドヲ思出スト、如何ニモ其心事同情ニ堪ヘザルモノガアル、併シソレハ樂屋落チノ話デアル、南京政府其モノガ公式的ニアノ排日ニ乘出シテ來テ居ル以上ハ、ハ内閣諸公ノ御希望ニ副ハナイ、是ダケハ北支情勢ハ、滿洲事變直前ノ如キ光景ヲ呈シテ居ツタノダ、是ガ勃發スレバ基礎アル彼等ノ排日——私ハ齒ニ衣ヲ著セズ言ヒマスガ

カドウカ、此點ニ遺憾ナキヲ得ナイト思ヒマス、私共カラ見マスレバ、北支ノ情勢方形勢ノ迫ル所、斯ノ如キ勃發ヲ見ルト云フコトヘ分リ切ツタコトデアル、最近一二年ノ北支情勢ハ、滿洲事變直前ノ如キ光景ヲ呈シテ居ツタノダ、是ガ勃發スレバ基礎アル彼等ノ排日——私ハ齒ニ衣ヲ著セズ言ヒマスガ「ソビエト」竝ニ霞關ガ信賴スル英吉利ナドノモノデナイト私ハ信ジテ居リマス(拍手)之ヲ責ムルコト緩ナレバ却テ抗日ノ氣勢ヲ増シ、抗日分子ノ傲慢ヲ長ズルト私ハ信ズル、非常時ニ臨ミ宋讓ノ仁ハ事ヲ破ルノ基デアリ、且又宋讓ノ仁ハ甚ダ屢々内心ノ不決断トヲ合宿スルコトヲシッカリ牢記シテ貰ヒタイト思ヒマス

諸君、非常時ニ臨ミ内閣ニ對シ全ク同情

アル、併シは避ケントシテ避ケラレナイ、コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ居ル、之ニ處スベキ途ハ私ハ近衛内閣ノ責任トハ言ヒマセヌ、近衛内閣以前歷代内閣コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ來ル、コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ任トハ言ヒマセヌ、近衛内閣以前歷代内閣デモ解決出來ナカツ、コツチガ讓ツテモ解決出來ナイ、相手方ガアルカラデアル、相手方ノ背後ニ控ヘル所ノ列國勢力ガアリ、魂膽ガアル、是ニ於テカ此問題ヲ徹底的ニ解決スルノハ消極デナクシテ積極、昨日ノ御詔勅ニアルガ如ク、日支提携ノ實ヲ舉ゲヨウツルナラバ、率直ニ近衛サンガ前回此議會ニ於テ披瀝サレタガ如キ、洵ニ美シキ亞細亞ヲ羽交ノ下ニ收ムルガ如キ、此溫情

民ニハ徹底シ兼ネタ、而モ其方法ハ局地解決不擴大、局地解決不擴大ハ宜シイガ、國民ニ向ツテ全面的昂奮ヲ與ヘル、其宣傳ヲ爲シテ立上ツタ時ニハ肚ノ中ノ不擴大、現地解決ハ甚ダ宜シカラウガ、最惡ノ場合ニ處スベキ徹底的覺悟ト準備トガナケレバナラヌ、此點ニ至ツテハ、當時カラハツキリシテ居ツタ

ハ甚ダ宜シカラウガ、最惡ノ場合ニ處スベキ徹底的覺悟ト準備トガナケレバナラヌ、此點ニ至ツテハ、當時カラハツキリシテ居ツタカドウカ、此點ニ遺憾ナキヲ得ナイト思ヒマス、私共カラ見マスレバ、北支ノ情勢方形勢ノ迫ル所、斯ノ如キ勃發ヲ見ルト云フコトヘ分リ切ツタコトデアル、最近一二年ノ北支情勢ハ、滿洲事變直前ノ如キ光景ヲ呈シテ居ツタノダ、是ガ勃發スレバ基礎アル彼等ノ排日——私ハ齒ニ衣ヲ著セズ言ヒマスガ「ソビエト」竝ニ霞關ガ信賴スル英吉利ナドノモノデナイト私ハ信ジテ居リマス(拍手)之ヲ責ムルコト緩ナレバ却テ抗日ノ氣勢ヲ増シ、抗日分子ノ傲慢ヲ長ズルト私ハ信ズル、非常時ニ臨ミ宋讓ノ仁ハ事ヲ破ルノ基デアリ、且又宋讓ノ仁ハ甚ダ屢々内心ノ不決断トヲ合宿スルコトヲシッカリ牢記シテ貰ヒタイト思ヒマス

諸君、非常時ニ臨ミ内閣ニ對シ全ク同情

アル、併シは避ケントシテ避ケラレナイ、コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ居ル、コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ任トハ言ヒマセヌ、近衛内閣以前歷代内閣コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ來ル、コツチガ逃ゲレバ向フガ送リ狼デ追ヶテ任トハ言ヒマセヌ、近衛内閣以前歷代内閣デモ解決出來ナカツ、コツチガ讓ツテモ解決出來ナイ、相手方ガアルカラデアル、相手方ノ背後ニ控ヘル所ノ列國勢力ガアリ、魂膽ガアル、是ニ於テカ此問題ヲ徹底的ニ解決スルノハ消極デナクシテ積極、昨日ノ御詔勅ニアルガ如ク、日支提携ノ實ヲ舉ゲヨウツルナラバ、率直ニ近衛サンガ前回此議會ニ於テ披瀝サレタガ如キ、洵ニ美シキ亞細亞ヲ羽交ノ下ニ收ムルガ如キ、此溫情

ヲ堪ヘナガラ斷乎トシテ率直ナル條件ヲ提  
ゲテ、日支間ニ根本的ノ諒解ヲ遂ゲルコト  
ガ、滿洲事變以後ノ帝國內閣ノ責任デアッタ  
ノデアル、支那ト端的ニ腹心ヲ披ク、然ル  
ニ齋藤内閣以來歷次ノ内閣ハ、支那ヲ邪道  
等ニ向テ歎心ヲ求ムルコトニ依リテ支那問  
題ヲ解決セントシタノデハナイカ、而シテ  
動モスレバ——御詔勅ニ提携スベシ、共存  
シテシト仰セラレタ、其ノ支那ニ對シテハ決  
心ナキ恫喝ヲ試ムル、而モ此支那問題ニ對  
シテ公然對立的地位ニ在ル國ニ對シテハ御  
世辭ヲ竝ベ、媚態ヲ呈ス、甚シキハ吾々國  
民ニマデ打明ケザル内證話マデモ打明ケ  
ル、殊ニ目立ツノハ吉田大使英國ニ赴任セ  
ル以來ノ對英媚態外交デアル、本國ニ於テ  
ハ政府ノ堪能ナル宣傳機關ヲ以テ效果ヲ齎  
シツ、アルガ如ク宣傳シテ居ルガ、英國ノ  
新聞ノ一二デモノ讀ム者ガ、如何ニ日本ノ遣  
外使臣ノ媚態其モノヲ嘲弄シテ居ルカト云  
フコトヲ見テ取ルト云フコトハ甚ダ容易デ  
アル、支那ハ夷ヲ以テ夷ヲ制スル、廣田外  
交ハ支那ニ對シテ夷ヲ以テ夷ヲ制スルヲ止  
メヨト言ツタ、然ルニドウデス、我ガ日本ハ  
日本ト競爭的地位ニアル國ニ對シ、對立  
的地位ニアル國ニ對シテ頭ヲ下ゲ、成案  
ナキ媚態御世辭ヲ竝ベルニ於テハ、支那  
人ハ日本ト稱スル夷ヨリハ、日本ガ頭ヲ  
下ゲテペコ／＼シテ居ル夷ノ方ガ強イ、  
此強キ夷ヲ以テフラ／＼シテ居ル所ノ日本  
ノ夷ヲ制スベシト決メテ來ル、夷ヲ以テ夷

ヲ制スルノ外交ヲ誘導發展セシメタルモノ  
ハ齋藤内閣以後ノ帝國外交デアルコトヲ、  
(拍手)此問題勃發以前モ、對英外交ハ頗ル  
私ハ衷心ヨリ遺憾千萬ニ思フ者デアリマス  
ニ齋藤内閣以來歷次ノ内閣ハ、支那ヲ邪道  
等ニ向テ歎心ヲ求ムルコトニ依リテ支那問  
題ヲ解決セントシタノデハナイカ、而シテ  
動モスレバ——御詔勅ニ提携スベシ、共存  
シテシト仰セラレタ、其ノ支那ニ對シテハ決  
心ナキ恫喝ヲ試ムル、而モ此支那問題ニ對  
シテ公然對立的地位ニ在ル國ニ對シテハ御  
世辭ヲ竝ベ、媚態ヲ呈ス、甚シキハ吾々國  
民ニマデ打明ケザル内證話マデモ打明ケ  
ル、殊ニ目立ツノハ吉田大使英國ニ赴任セ  
ル以来ノ對英媚態外交デアル、本國ニ於テ  
ハ政府ノ堪能ナル宣傳機關ヲ以テ效果ヲ齎  
シツ、アルガ如ク宣傳シテ居ルガ、英國ノ  
新聞ノ一二デモノ讀ム者ガ、如何ニ日本ノ遣  
外使臣ノ媚態其モノヲ嘲弄シテ居ルカト云  
フコトヲ見テ取ルト云フコトハ甚ダ容易デ  
アル、支那ハ夷ヲ以テ夷ヲ制スル、廣田外  
交ハ支那ニ對シテ夷ヲ以テ夷ヲ制スルヲ止  
メヨト言ツタ、然ルニドウデス、我ガ日本ハ  
日本ト競爭的地位ニアル國ニ對シ、對立  
的地位ニアル國ニ對シテ頭ヲ下ゲ、成案  
ナキ媚態御世辭ヲ竝ベルニ於テハ、支那  
人ハ日本ト稱スル夷ヨリハ、日本ガ頭ヲ  
下ゲテペコ／＼シテ居ル夷ノ方ガ強イ、  
此強キ夷ヲ以テフラ／＼シテ居ル所ノ日本  
ノ夷ヲ制スベシト決メテ來ル、夷ヲ以テ夷

ヲ制スルノ外交ヲ誘導發展セシメタルモノ  
ハ齋藤内閣以後ノ帝國外交デアルコトヲ、  
(拍手)此問題勃發以前モ、對英外交ハ頗ル  
私ハ衷心ヨリ遺憾千萬ニ思フ者デアリマス  
ニ齋藤内閣以來歷次ノ内閣ハ、支那ヲ邪道  
等ニ向テ歎心ヲ求ムルコトニ依リテ支那問  
題ヲ解決セントシタノデハナイカ、而シテ  
動モスレバ——御詔勅ニ提携スベシ、共存  
シテシト仰セラレタ、其ノ支那ニ對シテハ決  
心ナキ恫喝ヲ試ムル、而モ此支那問題ニ對  
シテ公然對立的地位ニ在ル國ニ對シテハ御  
世辭ヲ竝ベ、媚態ヲ呈ス、甚シキハ吾々國  
民ニマデ打明ケザル内證話マデモ打明ケ  
ル、殊ニ目立ツノハ吉田大使英國ニ赴任セ  
ル以来ノ對英媚態外交デアル、本國ニ於テ  
ハ政府ノ堪能ナル宣傳機關ヲ以テ效果ヲ齎  
シツ、アルガ如ク宣傳シテ居ルガ、英國ノ  
新聞ノ一二デモノ讀ム者ガ、如何ニ日本ノ遣  
外使臣ノ媚態其モノヲ嘲弄シテ居ルカト云  
フコトヲ見テ取ルト云フコトハ甚ダ容易デ  
アル、支那ハ夷ヲ以テ夷ヲ制スル、廣田外  
交ハ支那ニ對シテ夷ヲ以テ夷ヲ制スルヲ止  
メヨト言ツタ、然ルニドウデス、我ガ日本ハ  
日本ト競爭的地位ニアル國ニ對シ、對立  
的地位ニアル國ニ對シテ頭ヲ下ゲ、成案  
ナキ媚態御世辭ヲ竝ベルニ於テハ、支那  
人ハ日本ト稱スル夷ヨリハ、日本ガ頭ヲ  
下ゲテペコ／＼シテ居ル夷ノ方ガ強イ、  
此強キ夷ヲ以テフラ／＼シテ居ル所ノ日本  
ノ夷ヲ制スベシト決メテ來ル、夷ヲ以テ夷

ヲ制スルノ外交ヲ誘導發展セシメタルモノ  
ハ齋藤内閣以後ノ帝國外交デアルコトヲ、  
(拍手)此問題勃發以前モ、對英外交ハ頗ル  
私ハ衷心ヨリ遺憾千萬ニ思フ者デアリマス  
ニ齋藤内閣以後ノ帝國外交デアルコトヲ、  
ハ思フ、立憲政治ハ區切りガナクチヤナラ  
スベシト云フヤウナ情勢デアツタコトモア  
宣傳ガ甚ダ宜カツカラ、是マデ日本ガ折  
レテ出テ行ケバ、支那ノ傲慢ハ愈、長ジテ、  
茲ニ何事カ起リハセヌカト考ヘタ、果セル  
哉問題ガ勃發シタ、近衛内閣ハ斯ノ如キ激  
烈情勢ハ、齋藤内閣以來ノ所謂姑息偷安、  
現狀維持ニアッタ、併ナガラ我ガ國內ノ政  
治情勢ハ、齋藤内閣以來ノ生レタ近衛  
内閣デアル、次カラ次ニ問題ガ發生シテ行ク  
ノニ當リテ、私ハ若キ近衛總理大臣ニ頭腦ノ  
彈力ガアレバコソ、斯ノ如キ豫期セザル問  
題ニ次々ニ處シテ行カレルト、斯ウ見テ居  
リマス、併ナガラ次々ノ問題ニ處スルニ直  
覺、感覺、反射的ノ頭ノ働ラ出スト云フコ  
トハ、一定ノ「コース」ヲ立て、シッカリ踏張  
ルコトヨリハ危險デアルト私ハ思ツテ居  
ル、最初ノ政府ノ見透シト達シテ問題ガ發  
展シテ行カレルト、率直ニ言ヘバ事件ノ發展ニ、  
ズル／＼ト日本ノ政治ガ引張ラレテ居タノ  
デアッテ、事件ノ發展ヲ見越シテ、之ニ對シテ  
付テ、日露戰爭當時ノ事ヲ引合セテ内閣ノ  
御決心ヲ承リタイト考ヘテ居リマス、日露戰  
爭ノ以前ニ明治三十六年六月二十三日御

就キマシテハ私ハ舉國一致形態ノ問題ニ  
付テ、日露戰爭當時ノ事ヲ引合セテ内閣ノ  
御決心ヲ承リタイト考ヘテ居リマス、日露戰

爭ノ以前ニハ所謂庸人位ニ當リ國之ヨリ危キ  
ハナシト云フヤウナ情勢デアツタコトモア  
ル、今日ノ内閣ダツテ隨分平常時ノ基礎ノ  
下ニ於テ人間ノ配置ガシテアル、私ノ懇意

ナル廣田外務大臣ガ此處ニ居ラレル、外務大臣トシテハ立派ナ人アルガ、企畫廳ノ總裁ハドウ云フ譯デアルカ、企畫廳ノ總裁トナルナラバ、ソレ羊毛ト云フ問題が起ツタナラバ、原產地ノ情勢カラ羊毛工業、ソレカラ貿易、金融トピント頭ニ來ルヤウナ人デナケレバイカヌ、錢デモ何デモ經濟問題トシテ取扱フノニハ一ツノ勘ガ要ル、勘ガアルト云フコトハドウ云フコトデアルカト言ヘバ、平常十分ニ已ヲ養テ置ク、養テ居レバ問題ニ觸レテ頭ノ閃キガ發スル、今日ノ内閣ハ獨リ企畫廳ノミナラズ人物ヲ配置シテ居ルガ、ソレハ平常時ノコトヲ爲スニハ適シテ居ルガ、非常時ニ善處シテ活潑ノ勤キヲ爲スノニハ適セザル傾向アリト、私ハ密カニ憂慮スル者デアリマス、今日本ハ信ジテ居ル、今日ノ政治情勢ニ於テノ人材ヲ動員シテ之ヲ運營スルガ如ク改革シテ行カル、コトガ、今日ノ急務デアルト私ハ信ジテ居ル、今日ノ政治情勢ニ於テハ、難局ニ當ルモノハ近衛内閣ヨリ外ニハナイグラウト思フ、然ラバ其近衛内閣ガ確然トシテ時代ヲ劃シテ、勇躍シテ「新紀元」ヲ出スガ如ク動カル、コトガ今日ノ急務デアラウト思ノ、私ハ舉國一致ヲ要請セラレル内閣ニ對シテ、内閣其モノノ政略、軍略ノ一致、產業ト經濟ト財政ノ一致、時局ト其モノニ整フベキ一致政策アルコトヲ深ク信ジ、私ハ近衛總理大臣ガ此點ニ於テ、大行政トノ一致、政治ト政策トノ一致、内閣トヲ總動員法ト云フカ、人間ト產業ト機構アリ、均整的デアリ、立體的ニ之ヲ見レバ努力的デアル、ソレガ必要デナイカ、統制經濟ガ全面的ニ進ンデ行カナケレバナラヌコトハ、此情勢ニ即シテ免カルベカラザルモノデアル、是ハ實際統制經濟ヲ喜バザル産業家ト雖モ之ヲ認メテ居ル、唯部分的官僚ノ小サキ統制方面倒デアル、全面的、均整的統制經濟ヲ之ニ經驗アル人物ヲ總動員シテ、國家ノ非常ニ備ヘルコトガ今日ノ急務デハナイカト私ハ考ヘテ居リマス(拍手)戰

局ハ不擴大方針ニ拘ラズ、是マデ擴大セラレタ、戰時ニ順應スベキ國內經濟產業ノ大改革モ不擴大方針ニ行キツ、アレバ、形勢ニ引摺ラレテ全面的ノ崩壊トナリ、齟齬トナル、私ハ擴大スル勢ヲ見越シタナラバ、内地ノ國內改革ヲ全面的ニ、普遍的ニ、併シ常識的ニ一部ノ官僚ノミ、一部ノ人材ノミノコトハ出來ナイ、全面的ニ日本ノ人材ヲ動員シテ之ヲ運營スルガ如ク改革シテ行カル、コトガ、今日ノ急務デアルト私ハ信ジテ居ル、今日ノ政治情勢ニ於テハ、難局ニ當ルモノハ近衛内閣ヨリ外ニハナイグラウト思フ、然ラバ其近衛内閣ガ確然トシテ時代ヲ劃シテ、勇躍シテ「新紀元」ヲ出スガ如ク動カル、コトガ今日ノ急務デアラウト思ノ、私ハ舉國一致ヲ要請セラレル内閣ニ對シテ、内閣其モノノ政略、軍略ノ一致、產業ト經濟ト財政ノ一致、時局ト其モノニ整フベキ一致政策アルコトヲ深ク信ジ、私ハ近衛總理大臣ガ此點ニ於テ、大行政トノ一致、政治ト政策トノ一致、内閣トヲ總動員法ト云フカ、人間ト產業ト機構アリ、均整的デアリ、立體的ニ之ヲ見レバ努力的デアル、ソレガ必要デナイカ、統制經濟ガ全面的ニ進ンデ行カナケレバナラヌコトハ、此情勢ニ即シテ免カルベカラザルモノデアル、是ハ實際統制經濟ヲ喜バザル産業家ト雖モ之ヲ認メテ居ル、唯部分的官僚ノ小サキ統制方面倒デアル、全面的、均整的統制經濟ヲ之ニ經驗アル人物ヲ總動員シテ、國家ノ非常ニ備ヘルコトガ今日ノ急務デハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、南京政府ハ支那其モノノ支配セラル、政府デアルト思フ、蔣介石ハ

「ソビエト」露西亞トモ緊密ナル關係ヲ持シテ、形勢ノ發展ヲ監視シテ居ルトシテ居ルト言ツテ、日本ガ今マデ傳統的ニ賴キ非國民的ノ非東洋的ノ中央政府ヲ一撃シキ、所以ダト私共ハ考ヘルモノデアリマス、諸君、南京ヲブッ潰セバ、何處ニカ逃げテ行クダラウ、サウシテ抗日ヲ續クルダラウトノ見解ガアル、併ナガラ南京、長江、浙江一帶、此方面ノ經濟的實力ト離レテシマツテ、落行キタル政權ハ何等ノ力ヲモ爲サヌ、若シ蔣介石ガ斯ノ如クシテ落行クマツテ、落行キタル政權ハ何等ノ力ヲモ爲サヌ、若シ蔣介石ガ斯ノ如クシテ落行クヤウナコトガアレバ、或ハ共產黨ノ爲ニヤラレテシマフカモ知レヌ、若シ旨ク地方ニ落行クナラバ、ソレハ地方ノ督軍的勢力ニナッテ今ヤ殆ド支配權ヲ失ツタト云フ、其左右ニ

居ル者ハ一部ノ「ソビエト」系統ノ陳立夫、陳果夫等ノ人々、然ラザレバ毛澤東、周恩來等ノ共產派ノ人々、穩健派ハ斥ケラレテ「ソビエト」共產黨ガ一緒ニナッテ、排外的ニ動キツ、アル、其共產黨ノ後ロニハ「ソビエト」露西亞アリ、而シテ此蔣介石政權ヲ外ヨリ誇導シテ、「リースロス」借款以來、彼等ヲ援ケルニ金融經濟ヲ以テシ、自己ノ意ノ儘ニ支那ヲ動カントスルノガ、英國ノ政策アルト私ハ思フ、然ラバ今日ノ支那南京ノ政權ハ「ソビエト」露西亞的勢力ト、英國の勢力ノ合作デアル、「イーデン」外務大臣ハ事變勃發ノ初メニ於テ、英國ノ議會ニ於テハツキ「ソビエト」露西亞トモ緊密ナル關係ヲ持続シテ、形勢ノ發展ヲ監視シテ居ルトシテ居リマス、日本ガ今マデ傳統的ニ賴キ非國民的ノ非東洋的ノ中央政府ヲ一撃シキ、所以ダト私共ハ考ヘルモノデアリマス、諸君、南京ヲブッ潰セバ、何處ニカ逃げテ行クダラウ、サウシテ抗日ヲ續クルダラウトノ見解ガアル、併ナガラ南京、長江、浙江一帶、此方面ノ經濟的實力ト離レテシマツテ、落行キタル政權ハ何等ノ力ヲモ爲サヌ、若シ蔣介石ガ斯ノ如クシテ落行クヤウナコトガアレバ、或ハ共產黨ノ爲ニヤラレテシマフカモ知レヌ、若シ旨ク地方ニ落行クナラバ、ソレハ地方ノ督軍的勢力ニナッテシテ長期浸潤ラヤル、斯ノ如キ情勢ナリト私



樋口善右衛門君

稻田直道君

西岡竹次郎君

伊豆富人君

長谷長次君

岡崎憲君

小山亮君

青木作雄君

米塙満亮君

淺沼稻次郎君

原物兵衛君

高畠龜太郎君

春名成章君

山崎常吉君

○議長(小山松壽君) 只今指名致シマシタ  
所ノ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲  
公債發行ニ關スル法律案外四件委員ハ建議  
委員室ニ、米穀ノ應急措置ニ關スル法律案  
外一件委員ハ第九委員室ニ、輸出入品等ニ  
關スル臨時措置ニ關スル法律案委員ハ請願  
委員室ニ、臨時船舶管理法案委員ハ決算委  
員室ニ、ソレハ直チニ御參集ノ上、委員  
長及ビ理事ヲ互選シ、引續キ審議ニ著手セ  
ラレンコトヲ望ミマス(拍手)本日ノ議事日  
程ハ議了致シマシタ、明六日ハ貴族院ヨリ  
政府提出法律案ガ送付セラル、見込デアリ  
マスカラ、午後四時ヨリ本會議ヲ開キマス、  
本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二十一分散會

